

スタンド棟 3 階防火設備改修工事

図 面 番 号	図 面 名	縮 尺
D-1	表 紙 ・ 図 面 リ ス ト	N ・ S
D-2	現 場 説 明 書	N ・ S
D-3	特記仕様書（建築改修）1	N ・ S
D-4	特記仕様書（建築改修）2	N ・ S
D-5	特記仕様書（建築改修）3	N ・ S
D-6	特記仕様書（建築改修）4	N ・ S
D-7	特記仕様書（建築改修）5	N ・ S
D-8	特記仕様書（建築改修）6	N ・ S
D-9	仮 設 計 画 図-1	1/400
D-10	仮 設 計 画 図-2	1/300・1/50
D-11	付 近 見 取 図 ・ 配 置 図	1/800
D-12	断 面 図 1 ・ 2	1/100
D-13	スタンド棟 3階 ・ 中3階 改 修 平 面 図	1/300
D-14	3階 天 井 伏 図-1	1/300
D-15	3階 天 井 伏 図-2	1/50
D-16	3階 防火シャッター回り詳細図-1	1/50
D-17	3階 防火シャッター回り詳細図-2	1/50
D-18	3階 防火シャッター回り詳細図-3	1/50

[illegible][illegible]

		工事名称	スタンド棟 3 階 防 火 設 備 改 修 工 事	(有)白濱建築設計事務所 1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	縮 尺	図面番号
			図面名称		表 紙・図面リスト	N・S

現場説明書（建築・設備工事編）

佐賀県県土整備部建築住宅課(令和元年7月1日施行)

(Ａ) 工事概要及び一般事項

1. 工事概要

①工事名称 スタンド棟 3 階防火設備改修工事

②施工場所 佐賀県鳥栖市江島町 地内

③工 期 契 約 日 から 150 日 間

④工事内容 （別添 特記仕様書及び設計図面による）

⑤別途予定の関連工事
2. 設計図書の優先順位

設計図書は相互に補完するものとし、相互に相違がある場合の優先順位は次のとおりとする。

①質疑回答書 ②現場説明書 ③特記仕様書 ④設計図面 ⑤標準仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）
3. 工事着手前・完成時の提出図書

①工事請負契約後、監督員の指示により設計図面の製本を提出すること。

②その他、建築住宅課完成図書作成・提出要領（平成30年4月適用）により監督員の指示に従って発注者へ提出すること。
4. 契約事務上の注意事項

①工事請負契約書は佐賀県建設工事請負契約約款を使用することとし、その他の契約事務については佐賀県財務規則による。

②不慮の事故に備えて火災保険等に加すること。なお、契約額は工事規模・請負契約額に相応する内容とし、原則として工事完成期日後14日間の予備期間を設けること。

③工事が複数年度に亘る場合は、各年度の請負代金の支払い限度額及び施工責任額は、契約書作成の日までに通知する。

(Ｂ) 現場及び技術に関する説明事項

1. 指定仮設

設計図面に明記された仮設については、指定仮設として実施すること。なお、現場状況及び施工方法により変更が必要な場合は監督員との協議により実施すること。
2. 工事着工前の確認

建物の配置については設計図書に基づいて縄張りを行い、監督員と最終確認を行うこと。

既存施設内で増築・改修工事をする場合は、仮設計図書及び施工計画書等を作成し施工上必要な「工事用地等」について施設管理者と協議すること。また、既存の設備、地下埋設物については十分な予備調査を行って施工すること。
3. 工程管理

工事の着手に当たっては、他の関連工事業者と調整の上、受電時期や試運転調整期間等を見込んだ実施工程表を作成し監督員に提出すること。また、工事期間中はこの工程表に従い工事の円滑な進捗に努めること。
4. 施工体制台帳

施工体制台帳及び施工体系図については、下請契約の請負代金額に関わらず、次のとおりとする。

・「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の定めに従って、別に定める国土交通省令に従って記載した施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、所定の様式（建築工事監理指針等を参照）により監督員に提出しなければならない。

・各下請負者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

・請負者は施工体系図を所定の様式（建築工事監理指針等を参照）により監督員に提出しなければならない。

※施工体制台帳及び施工体系図等の詳細は、土木工事施工管理の手引き（佐賀県）を参照すること。
5. 施工中の安全確保及び環境保全等

施工中の安全確保及び環境保全並びに災害・公害の防止については「建築・電気・機械各標準仕様書」によるほか、次の指針・要綱によること。

・建築工事安全施工技術指針（平成27年1月20日改正、国営整第216号）

・建設工事公衆災害防止対策要綱（令和元年9月2日、国土交通省告示496号）

・建設副産物適正処理推進要綱（平成14年5月30日改正、国官総第122号、国総事第21号、国総建第137号）

事件・事故発生時には直ちに監督員に連絡すること。
6. 使用人等の管理

請負者は、使用人等（下請負者又はその代理人若しくはその使用人その他これに準ずる者を含む）の適正な労働条件を確保し、適時、使用人等への指導及び教育を行うとともに、工事が適正に遂行されるように管理及び監督すること。また、使用人等の管理に当たっては、作業員名簿を作成・保管することとし、監督員の請求があった場合は、提示すること。
7. 工事監理者

この工事については、監督員業務の一部を第三者（設計者等）に委託する場合がある。
8. 特定元方事業者

労働安全衛生法第30条第2項に基づく特定元方事業者として、この敷地内の建設工事における契約額が最大の建築工事の請負業者を指定する。
9. 工期変更等の場合の前金保証会社への通知

前払金保証約款第7条の2「工期を変更する場合等における措置」の保証会社への通知は、請負者で行うこと。

(Ｃ) 指導事項

1. 建設工事の適正な施工の確保について

本工事の施工に当たっては、適正かつ円滑な施工を確保するために「建設業法」や「建設産業における生産システム合理化指針」等に基づく建設関連指導事項を遵守し、適正な契約の締結、適正な施工体制の確立、建設労働者の雇用条件等の改善に努め、建設関連法等に抵触する行為は行わないこと。
2. 労働福祉の改善等について

建設労働者の福祉の向上を図り、建設需要に対する労働者を確保し建設業の健全な発展を図るため、労働者災害補償保険制度、建設業退職金共済制度及び労働災害補償共済制度等に関して、土木工事等共通仕様書（佐賀県）第1章第48節の規定を遵守すること。

また、建設業退職金共済制度に係る共済証紙の購入については、共済制度の対象となる労働者（対象工事の請負業者の下請業者が当該労働者を使用する場合を含む）の当該工事に係る就労予定日数を把握し、必要枚数を購入後、「発注者用掛金収納書」を発注者へ提出すること。
3. 各種調査への協力依頼

公共事業労務費調査、共通仮設費の実績調査等の対象工事となった場合は、必要な協力を行うこと。
4. 下請負人等の選定

下請業者、資材調達及び工事に係る技術者等の選定については、「佐賀県建設工事請負契約約款第7条の2」によること。

また、工事に使用する資材については、地場産業の活性化を図るため県内で産出、生産又は製造されたものを積極的に使用するよう努めること。

5. 下請負人、資材調達先及び技術者の申請等

- 請負者は、佐賀県建設工事請負契約約款第7条の2第1項に規定する下請契約を締結しようとした場合は、一部下請負申請書を監督員に提出し、その承諾を得ること。なお、下請業者が県外業者となる場合は「県内優先不実施の理由書」「下請負辞退書」等を同時に提出すること。
- 請負者は、佐賀県建設工事請負契約約款第7条の2第2項に規定する工事材料に係る納入業者を選定した場合は、工事資材使用届出書を監督員に提出すること。なお、納入業者が県外業者となる場合は、理由書を監督員に提出すること。
- 請負者は、佐賀県建設工事請負契約約款第7条の2第3項に規定する工事に係る技術者等の配置を決定した場合は、技術者等名簿届出書を監督員に提出すること。なお、配置する技術者等が県外居住者となる場合は、理由書を監督員に提出すること。

6. 工事用資機材等の搬送に関する関連法の遵守等

道路交通法及び関係法令に抵触する搬送車両並びに交通安全の配慮に欠ける業者は排除すること。

また、「電波法 昭和25年 法律第131号」により、不法無線局を設置した車両を工事現場に出入りさせないこと。

7. 工事実績情報の登録

請負金額が500万円以上の工事については、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報（CORINS）の登録をすること。

8. 産業廃棄物税の取扱いについて

本工事により発生する建設廃棄物のうち、九州各県の焼却施設及び最終処分場へ搬入するものについては、産業廃棄物税が課税されるため、適正に事務処理を行うこと。

なお、熊本県及び北九州市へ搬入するものについては、課税対象施設が異なるため、監督員と協議すること。

9. 建築物の解体等の作業における石綿対策について

・石綿含有建材等を使用した建築物、工作物などの解体等の作業については、石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令第21号、以下「石綿則」という。）に従い、適正に行うこと。

・建築物等の解体等の作業を行うに当たっては石綿ばく露防止対策等の実施内容の掲示を行うこと。

なお、掲示方法については、監督員と協議すること。

・その他関係法令（廃棄物処理法、大気汚染防止法、労働安全衛生法等）を遵守すること。

10. 環境への負荷の少ない物品等の使用について

「佐賀県環境物品等の調達の推進に関する基本方針」による特定調達物品等を使用する場合は、その方針における当該物品に係る「判断の基準」を満たすものを使用すること。なお、その「判断の基準」に対応することができない場合は、監督員と協議すること。

11. 木質系材料に係る合法性及び持続可能性の証明

木質系材料を使用する場合は、その原料となる原木についての合法性及び持続可能な森林経営が営まれている森林からの産出に係る確認を行うこと。なお、その確認を行う場合には、林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン（平成18年2月15日）」に準拠して行うこと。

12. 建設副産物の取扱い

建設副産物の取扱いについては、「建設副産物適正処理推進要綱」（国土交通省平成14年5月30日改正）によることを原則とするほか、建設副産物の取扱い方針（佐賀県）に従い、適切に処理すること。

13. ゴム製品等の品質確認等

請負者は、東洋ゴム化工品（株）、ニッタ化工品（株）で製造された製品や材料（以下、ゴム製品等とする。）を用いる場合には、同社が製造するゴム製品等に対して請負者が指定した第三者（東洋ゴム化工品（株）、ニッタ化工品（株）と資本面・人面で関係がない者）によって作成された品質を証明する書類を提出し、監督員の確認を得るものとする。

第三者による品質証明書類を提出し、監督員の確認を得た場合であっても、のちに製品の不良等が判明した場合に請負者の瑕疵担保責任が免責されるものではない。

(Ｄ) その他特記事項

- ・本工事は、建築・設備工事検査取扱い要領（佐賀県）に定める中間検査の工程に達した時、適宜中間検査を実施出来る。実施工程時期については、別途監督員の指示による。
- ・本工事は、完成施設事後調査実施要領に基づき、各施設管理者及び設計（監理）委託業者の立会いのうえで完成施設事後調査を実施すること。
- 第一次調査：工事が完成し、施設管理者に引き渡した後、概ね6ヶ月の時期
- 第二次調査：かし担保期間（本道建築又は設備工事は1年、ＲＯ造等の建築物等又は土木工作物等は2年、構造等にかかわらず改修工事の場合は1年）が終了する前、概ね1ヶ月の時期
- ・敷地内外における工事用及び作業員の車輛の通行については、交通安全に十分配慮し、必要に応じて交通誘導員を配置すること。
- なお、交通誘導員を配置しない工事にあっては同敷地内の交通誘導員の指示に従うこと。
- ・騒音や粉塵等が発生する工事については、事前に施設管理者と十分協議すること。
- ・解体・撤去時の養生に十分注意すること。また、構築物や通路（道路）等を損傷・汚染させた場合は、施工者の責任において速やかに原形に復すること。
- ・本工事は、「工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領」によるワンデーレスポンス実施対象工事である。
- ・地下埋設物・架空線等上空施設の近接作業を行う場合には、「地下埋設物・架空線等上空施設の事故防止マニュアル」（佐賀県平成26年1月）に従い、慎重に行うこと。
- ・本工事は、設計変更手続きの透明性及び公正性の向上及び迅速化を目的として、発注者と施工者が一堂に会して、設計変更の妥当性及び設計変更等に伴う工事中止等の判断の協議を行う場として開催する「設計変更会議」の設置対象工事である。なお、「設計変更会議」への参加については、「設計変更会議実施要領」による。
- ・本工事は、建設現場における「快適トイレ」の設置試行対象工事である。快適トイレは「建設現場における「快適トイレ」設置試行要領」により、受注者の希望で設置すること。
- ・舗装の切断作業時に発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収し、回収された排水については産業廃棄物（汚泥）として適正に処理すること。
- なお、廃掃法に基づき、産業廃棄物の排出事業者（請負業者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分、性状等）を処理業者に提供することが必要である。

スタンド棟 3階 防火設備改修工事仕様書							
I 工事概要							
1. 工事場所 2. 敷地面積 3. 地域地区		鳥栖市江島町 地内					
4. 建物用途 5. 棟別概要		都市計画区域 (〇内 ・外) 準都市計画区域 (・内 ・外) 用途地域等 () 〇指定なし (・防火地域 ・準防火地域 ・法22条区域 〇指定なし)					
6. 工事項目		観覧場					
建 物 名 称		構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	建築基準法 別表第1の区分	備 考
競馬場 スタンド棟		R C造	地上3階 一部4階建	17538.75	6698.73	(1) 観覧場	
スタンド棟3階及び中3階防火設備改修工事							
・シャッター工事							
・塗装工事							
・内装工事							
・解体工事							
II 建築改修工事仕様							
1. 共通仕様							
(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）」（以下、「改修標準仕様書」という）により、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）」（以下、「標準仕様書」という）による							
(2) 本工事に電気設備、機械設備工事を含む場合の特記仕様書は別図による。							
(3) 受注者は完了検査（中間検査を含む）には、特定行政庁（建築主事）が求める検査に必要な資料等（報告書等）を用意すること。							
2. 特記仕様							
(1) 項目は、番号に 印の付いたものを適用する。							
(2) 特記事項は、〇印の付いたものを適用する。							
〇印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。							
〇印と※印の付いた場合は、ともに適用する。							
(3) 特記事項に記載の[]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図、又は当該表を示し、()内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。							
(4) ※印は「国等」による環境物品等の調達の推進に関する法律（グリーン購入法）」の特定調達品目を示す。							
判断の基準は「環境物品の調達の推進に関する基本方針（平成29年2月版）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。							
(5) 関係法令の改正等により（条例を含む）、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応について、監督職員と協議すること。							
(6) 形状寸法の単位は、特記無き限りミリメートルとする。							
章	項 目	特 記 事 項					
1 一般共通事項	①適用基準等	※ 建築工事標準詳細図（平成28年版） ・ 公共建築大工工事標準仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成28年版） ・ ユニバーサルデザイン施設整備基準（佐賀県福祉のまちづくり条例 施設整備マニュアル） ・ 施設におけるわかりやすいユニバーサルデザインのサイン（佐賀県県土づくり本部建築住宅課発行） ・ 土木工事等共通仕様書（佐賀県県土整備部）					
	②発生材の処理	・ 発注者に引渡しを要するもの（・金属類 ・POB含有物 ・ ） [1.3.12] 引渡し場所 ※構内 ・（ ）					
		特定建設資材の分別解体等及び再資源化等 ・ 本工事は特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に係る法律」（平成12年5月31日法第104号。以下「建設リサイクル法」という）施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化の実施について適切な措置を講ずる工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件によりがたい場合は、監督職員と協議すること。					
		工程ごとの作業内容					
	工 程	作 業 内 容					
	① 造成等	造成等の工事 ・有 ・無					
	② 基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの工事 ・有 ・無					
	③ 上部構造部分・外装	上部構造部分・外装の工事 ・有 ・無					
	④ 屋根	屋根の工事 ・有 ・無					
	⑤ 建築設備・内装等	建築設備・内装等の工事 〇新					
⑥ その他	その他の工事 ・有 ・無						
〇本工事は、建設リサイクル法等の対象工事外であるが分別解体等及び特定建設資材の再資源化等について適切な措置を行う							
再資源化すべきもの							
廃棄物の種類	施設名称	所 在 地		搬出距離			
・コンクリート塊							
・アスファルトコンクリート塊							
・建設発生木材							
〇金属							
・上記に示す受入れ施設は参考であり、実施にあたっては関係法令を遵守し、適切な処理を行うものとする。なお、処分場の決定に当たっては監督職員と協議をすること。							
〇再生資源利用計画書および実施書は、必ず建設副産物情報交換システム（コプリス）にて作成し提出すること。							
10 技能士		1 (続き)		再資源化すべきもの以外			
				廃棄物の種類 施設名称 所 在 地 搬出距離			
				〇能く 3タイプ類			
				・がくず、陶磁器くず			
				・繊維くず			
				・木くず			
				・非飛散性 7Aベスト含有建材			
				・飛散性7Aベスト			
				〇能く 能く 能く			
				・畳			
				上記に示す受入れ施設は参考であり、実施にあたっては関係法令を遵守し、適切な処理を行うものとする。なお、処分場の決定に当たっては監督職員と協議をすること。			
				③品質計画			
				施工計画書で工法を定める場合の風圧力の計算 [1.2.2] 基準風速 (V0) () m/s 地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ ・上記風圧力の1.3倍の風圧力に対する安全性を確保する ・上記風圧力の1.15倍の風圧力に対する安全性を確保する 適用工種 ・ALC(外壁) ・押出成形ALC板(外壁) ・外壁石張(乾式) ・長尺金属板葺 ・折板葺 ・アルミ笠木 ・ガラスブロック ・シート防水(機械式) ・屋上緑化システム ・()			
				④設備工事との取り合い			
				⑤材料の品質等			
				⑥環境への配慮			
				本工事に於いて別表-2に示す材料を使用する場合の材料・機材等の製造業者等は次の(1)から(6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料は外務機関が発行する品質及び性能報告書が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける (1) 品質及び性能に関する試験データを整備していること (2) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること (3) 安定的な供給が可能であること (4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6) 販売、保守等の営業体制を整えていること			
				⑦施工計画			
				⑧施工計画			
				⑨施工計画			
				⑩施工計画			
				⑪施工計画			
				⑫施工計画			
				⑬施工計画			
				⑭施工計画			
				⑮施工計画			
				⑯施工計画			
				⑰施工計画			
				⑱施工計画			
				⑲施工計画			
				⑳施工計画			
				㉑施工計画			
				㉒施工計画			
				㉓施工計画			
				㉔施工計画			
				㉕施工計画			
				㉖施工計画			
				㉗施工計画			

		工事名称 スタンド棟 3 階 防 火 設 備 改 修 工 事	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	N・S	D-3
		図面名称 特記仕様書（建築改修） 1			

3 (続き)	6. (続き)	粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・脱気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルトシート製造所の指定による ・押入金物 ※改質アスファルトシート製造所の仕様による	3 (続き)	11. アルミニウム製変木	<table><tr><th>施工場所</th><th>種類</th><th>製品幅</th><th>最少呼称肉厚</th><th>表面処理</th><th>被覆・複合被覆</th></tr><tr><td>ナフン形式</td><td>・押し出し250形 ・押し出し300形 ・押し出し350形 ・板材折曲げ形 ・板材折曲げ形</td><td>※240、250 ※300 ※350 ・() ・()</td><td>※1.6 ※1.8 ※2.0 ※2.0 ※2.0</td><td>※A-1種又はB-1種 ・() ・()</td><td>※AA15</td></tr></table> <p>既存変木等の撤去 ・行う (範囲) ・図示 ・行わない</p> <p>下地補修の工法 ※図示 ・ 板材折曲げ形の変木の取付方法 ※図示 ・ 棟上道覆導体システム ※無 ・有</p> <p>※金属屋根工事及び防水工事については、10年間の施工保証と、保証書は元請業者と施工業者の連名とすること ・金属屋根工事及び防水工事については、() 年間の施工保証と、保証書は元請業者と施工業者の連名とすること</p>	施工場所	種類	製品幅	最少呼称肉厚	表面処理	被覆・複合被覆	ナフン形式	・押し出し250形 ・押し出し300形 ・押し出し350形 ・板材折曲げ形 ・板材折曲げ形	※240、250 ※300 ※350 ・() ・()	※1.6 ※1.8 ※2.0 ※2.0 ※2.0	※A-1種又はB-1種 ・() ・()	※AA15	4-2 外壁 改修 工事 モルタル塗り仕上げ	1. 既存モルタルの撤去 ・行う (・全面 ※図示の範囲) [4.4.2]	2. ひび割れ部 改修工法 ・ 樹脂注入工法 [4.2.2][4.4.5~7]	3. (続き)	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 ※改修標準仕様書表4.5.1による ・行う ・行わない ・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り 外装ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤による陶磁器質タイル張り シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコン系																																																																																														
	施工場所	種類	製品幅	最少呼称肉厚	表面処理	被覆・複合被覆																																																																																																														
ナフン形式	・押し出し250形 ・押し出し300形 ・押し出し350形 ・板材折曲げ形 ・板材折曲げ形	※240、250 ※300 ※350 ・() ・()	※1.6 ※1.8 ※2.0 ※2.0 ※2.0	※A-1種又はB-1種 ・() ・()	※AA15																																																																																																															
7. 合成高分子系 ルーフパッキン防水	防水層の種類 [3.5.2~4][表3.5.1~3]	<table><tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材</th><th>仕上塗料 使用量</th><th>種類</th><th>備考</th></tr><tr><td>・POS ・S4S</td><td>・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3</td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・S3S</td><td>・S-F1 ・S-F2</td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・M4S</td><td>・S-M1 ・S-M2 ・S-M3</td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1</td><td>・S1-F1 ・S1-F2</td><td>(材質) ※3.5.2(c)(3)(i)①～④によるものほか JIS A 9511によるA種※150/25mmの断熱材の密度及び断熱率の適合するもの又は JIS A 9511によるB種※150/25mmの断熱材の密度及び断熱率の適合するもの (厚さ) ・25mm ・</td><td></td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・S1-M1 ・S1-M2 ・S1-M3</td><td></td><td>(材質) ※3.5.2(c)(3)(i)①～④によるもの (厚さ) ・25mm ・</td><td></td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・S-G1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>モルタル塗厚</td></tr></table> <p>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による ・絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 ※防錆処理した鋼板、スチール鋼板及びそれらの鋼板の片面又は両面に樹脂を積層加工したもので、 厚さ0.4mm以上のもの ・ 脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシート製造所の指定による ・既存防水下地がPCコンクリート部材及びALCパネル下地で種別S-G1の場合の処理 目地処理 ・行う (工法) ・行わない 入隅部の増張り ・行う ・行わない 保護層の施工 平場のモルタル塗り ・床塗り工法 (※6.15.6(b)(2)及び(3)に準じる) ・ ・タイル張り下地等のモルタル塗り (※6.15.6(c)(i)に準じる) ・ 平場の保護コンクリートの厚さ ※図示 mm 立上り部の保護モルタル塗厚 ※7mm以下</p> <p>ゴムアスファルト系 塗膜防水 (新設設備基礎) [3.6.2~4]</p> <table><tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>仕上塗料 (X-2のみ)</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>種類 使用量</td><td></td></tr><tr><td>・POX</td><td>※X-1 ・X-2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・L4X</td><td>・X-1 ・X-2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・PIY</td><td>※Y-2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・PZY</td><td>※Y-2</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <p>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 保護層 ・設ける ・設けない 脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料製造所の指定による ・ シーリング改修工法の種類 [3.7.2~7] ・シーリング充填工 ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・ボンドブリーカー張り ・適用する ・適用しない ・エッジング材張り ・適用する ・適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。</p> <table><tr><th>施工箇所</th><th>シーリング材の種類 (記号)</th></tr><tr><td>○新設シャッター回り壁 (ボード取り合い)</td><td>○MS-2</td></tr></table> <p>シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書表3.7.3(a)(1)～(3)による ・接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 [3.7.8]</p> <p>といその他 [3.8.2、3]</p> <table><tr><th>種別</th><th>材 質</th><th>径</th><th>施工箇所</th><th>備考</th></tr><tr><td>たてどい</td><td>・硬質ポリ塩化ビニル管 ・配管用銅管 ・ステンレス銅管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・強化硬質ポリ塩化ビニル管 3層</td><td></td><td></td><td>SUS304、厚2</td></tr><tr><td>軒どい</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <p>ルーフドレン [3.8.3]</p> <table><tr><th>種 別</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・ろく屋根用 (・機型 ・機型)</td><td></td></tr><tr><td>・バルコニー用</td><td></td></tr><tr><td>・バルコニー中継用</td><td></td></tr></table> <p>ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示 ・ 銅管製といの防露巻き ※改修標準仕様書表3.8.5による ・ とい受金物 ※ステンレス製 ・鋼製 (亜鉛めっき) ルーフドレンの取付け ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 使用量	種類	備考	・POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			・	・		・S3S	・S-F1 ・S-F2			・	・		・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			・	・		・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S1-F1 ・S1-F2	(材質) ※3.5.2(c)(3)(i)①～④によるものほか JIS A 9511によるA種※150/25mmの断熱材の密度及び断熱率の適合するもの又は JIS A 9511によるB種※150/25mmの断熱材の密度及び断熱率の適合するもの (厚さ) ・25mm ・		・	・		・S1-M1 ・S1-M2 ・S1-M3		(材質) ※3.5.2(c)(3)(i)①～④によるもの (厚さ) ・25mm ・		・	・		・S-G1						モルタル塗厚	工法	種別	施工箇所	仕上塗料 (X-2のみ)	備考				種類 使用量		・POX	※X-1 ・X-2				・L4X	・X-1 ・X-2				・PIY	※Y-2				・PZY	※Y-2				施工箇所	シーリング材の種類 (記号)	○新設シャッター回り壁 (ボード取り合い)	○MS-2	種別	材 質	径	施工箇所	備考	たてどい	・硬質ポリ塩化ビニル管 ・配管用銅管 ・ステンレス銅管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・強化硬質ポリ塩化ビニル管 3層			SUS304、厚2	軒どい					種 別	施 工 箇 所	・ろく屋根用 (・機型 ・機型)		・バルコニー用		・バルコニー中継用		4 外壁 改修 工事 コンクリート打ち放し仕上げ	1. 可とう性 I※ 杉樹脂 [4.2.2]	2. パテ状 I※ 杉樹脂 [4.2.2]	3. I※ 杉樹脂貼付 [4.2.2]	4. R※モルタル貼付 [4.2.2]	5. R※モルタル貼り [4.2.2]	6. 既製適合材貼付 [4.2.2]	7. 外壁改修 数量表 [4.2.2]
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 使用量	種類	備考																																																																																																														
・POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			・	・																																																																																																															
・S3S	・S-F1 ・S-F2			・	・																																																																																																															
・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			・	・																																																																																																															
・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S1-F1 ・S1-F2	(材質) ※3.5.2(c)(3)(i)①～④によるものほか JIS A 9511によるA種※150/25mmの断熱材の密度及び断熱率の適合するもの又は JIS A 9511によるB種※150/25mmの断熱材の密度及び断熱率の適合するもの (厚さ) ・25mm ・		・	・																																																																																																															
・S1-M1 ・S1-M2 ・S1-M3		(材質) ※3.5.2(c)(3)(i)①～④によるもの (厚さ) ・25mm ・		・	・																																																																																																															
・S-G1						モルタル塗厚																																																																																																														
工法	種別	施工箇所	仕上塗料 (X-2のみ)	備考																																																																																																																
			種類 使用量																																																																																																																	
・POX	※X-1 ・X-2																																																																																																																			
・L4X	・X-1 ・X-2																																																																																																																			
・PIY	※Y-2																																																																																																																			
・PZY	※Y-2																																																																																																																			
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)																																																																																																																			
○新設シャッター回り壁 (ボード取り合い)	○MS-2																																																																																																																			
種別	材 質	径	施工箇所	備考																																																																																																																
たてどい	・硬質ポリ塩化ビニル管 ・配管用銅管 ・ステンレス銅管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・強化硬質ポリ塩化ビニル管 3層			SUS304、厚2																																																																																																																
軒どい																																																																																																																				
種 別	施 工 箇 所																																																																																																																			
・ろく屋根用 (・機型 ・機型)																																																																																																																				
・バルコニー用																																																																																																																				
・バルコニー中継用																																																																																																																				
8. 塗膜防水	ゴムアスファルト系 塗膜防水 (新設設備基礎) [3.6.2~4]	<table><tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>仕上塗料 (X-2のみ)</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>種類 使用量</td><td></td></tr><tr><td>・POX</td><td>※X-1 ・X-2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・L4X</td><td>・X-1 ・X-2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・PIY</td><td>※Y-2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・PZY</td><td>※Y-2</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <p>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 保護層 ・設ける ・設けない 脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料製造所の指定による ・ シーリング改修工法の種類 [3.7.2~7] ・シーリング充填工 ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・ボンドブリーカー張り ・適用する ・適用しない ・エッジング材張り ・適用する ・適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。</p> <table><tr><th>施工箇所</th><th>シーリング材の種類 (記号)</th></tr><tr><td>○新設シャッター回り壁 (ボード取り合い)</td><td>○MS-2</td></tr></table> <p>シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書表3.7.3(a)(1)～(3)による ・接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 [3.7.8]</p> <p>といその他 [3.8.2、3]</p> <table><tr><th>種別</th><th>材 質</th><th>径</th><th>施工箇所</th><th>備考</th></tr><tr><td>たてどい</td><td>・硬質ポリ塩化ビニル管 ・配管用銅管 ・ステンレス銅管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・強化硬質ポリ塩化ビニル管 3層</td><td></td><td></td><td>SUS304、厚2</td></tr><tr><td>軒どい</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <p>ルーフドレン [3.8.3]</p> <table><tr><th>種 別</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・ろく屋根用 (・機型 ・機型)</td><td></td></tr><tr><td>・バルコニー用</td><td></td></tr><tr><td>・バルコニー中継用</td><td></td></tr></table> <p>ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示 ・ 銅管製といの防露巻き ※改修標準仕様書表3.8.5による ・ とい受金物 ※ステンレス製 ・鋼製 (亜鉛めっき) ルーフドレンの取付け ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填</p>	工法	種別	施工箇所	仕上塗料 (X-2のみ)	備考				種類 使用量		・POX	※X-1 ・X-2				・L4X	・X-1 ・X-2				・PIY	※Y-2				・PZY	※Y-2				施工箇所	シーリング材の種類 (記号)	○新設シャッター回り壁 (ボード取り合い)	○MS-2	種別	材 質	径	施工箇所	備考	たてどい	・硬質ポリ塩化ビニル管 ・配管用銅管 ・ステンレス銅管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・強化硬質ポリ塩化ビニル管 3層			SUS304、厚2	軒どい					種 別	施 工 箇 所	・ろく屋根用 (・機型 ・機型)		・バルコニー用		・バルコニー中継用		4-3 外壁 改修 工事 タイル張り仕上げ	1. 既存タイル張りの撤去 ・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ	2. ひび割れ部 改修工法 ・ 樹脂注入工法 [4.2.2][4.5.5、6]	3. 欠損部改修工法 [4.5.4]	4. 浮き部改修工法 [4.2.2][4.4.10~15]	5. 欠損部改修工法 [4.5.4]	6. 欠損部改修工法 [4.2.2][4.5.5、6]	7. 欠損部改修工法 [4.5.4]</																																																	
工法	種別	施工箇所	仕上塗料 (X-2のみ)	備考																																																																																																																
			種類 使用量																																																																																																																	
・POX	※X-1 ・X-2																																																																																																																			
・L4X	・X-1 ・X-2																																																																																																																			
・PIY	※Y-2																																																																																																																			
・PZY	※Y-2																																																																																																																			
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)																																																																																																																			
○新設シャッター回り壁 (ボード取り合い)	○MS-2																																																																																																																			
種別	材 質	径	施工箇所	備考																																																																																																																
たてどい	・硬質ポリ塩化ビニル管 ・配管用銅管 ・ステンレス銅管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・強化硬質ポリ塩化ビニル管 3層			SUS304、厚2																																																																																																																
軒どい																																																																																																																				
種 別	施 工 箇 所																																																																																																																			
・ろく屋根用 (・機型 ・機型)																																																																																																																				
・バルコニー用																																																																																																																				
・バルコニー中継用																																																																																																																				

[illegible]

5 (続 き)	18. ガラス用フィルム	<table><tr><th>名称</th><th>種類</th><th>張り面</th><th>性能値</th></tr><tr><td>・ガラス飛散防止フィルム</td><td>GS</td><td>※内張り・外張り</td><td>飛散防止率D1</td></tr><tr><td>・日射調整フィルム</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 品質 JIS A 5759による	名称	種類	張り面	性能値	・ガラス飛散防止フィルム	GS	※内張り・外張り	飛散防止率D1	・日射調整フィルム				・				6 (続 き)	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱
	名称	種類	張り面	性能値																
・ガラス飛散防止フィルム	GS	※内張り・外張り	飛散防止率D1																	
・日射調整フィルム																				
・																				
19. 鍵箱	形式 30本入()個・60本入()個・120本入()個・本入()個 鋼製市販品とし、監査職員の承認による	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱																		
6 内装改修工事	①改修範囲	既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 〇 図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面から両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 〇 図示 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま 〇 図示	[6. 1. 3]	9. 造作用単板積層材	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材															
	2. 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ※ 仕上げ材のみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも(・ 図示の範囲・除去範囲全て) 合成樹脂床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目貫し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4層外装改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 〇 図示	[6. 2. 2]	10. 床張り用合板等(間仕切り壁合板)	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・普通合板															
	③既存壁の撤去及び下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4. 9によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の補修・行う・行わない) 〇 図示	[6. 3. 2]																	
	4. 木下地等の表面仕上げ	表面仕上げの種類 適用箇所 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種	[6. 5. 1]																	
	5. 材料	現場搬入時の木材の含水率 ※A種・B種 保存処理木材 ・使用する(使用箇所:) 間伐材等 ・使用する(使用箇所:)	[6. 5. 2]																	
	6. 産地等	・県産木材 ※使用する(使用箇所:) ・さがの木 ※使用する(使用箇所:) ・地域材 ※使用する(使用箇所:) ・県産材製材品(板材)の規格																		
	7. 製材	・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材	[6. 5. 2]																	
		施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用 ※2級・ ・ A 種 ・ B 種 ・																		
		・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材																		
		施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用 ※6. 5. 2(b) (1) (ii) ・ A 種 ・ B 種 ・																		
	・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材																			
	施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用 ※1級・ ・ ※10%以下 ・																			
	・「製材の日本農林規格」以外の製材																			
	施工箇所 樹種 寸法(mm) 造作材の材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 間伐材等の適用 () ・適用する ・適用しない ・ A 種 ・ B 種 ・ 造作材の場合(※A種・B種)																			
	・代用樹種を使用できない箇所()																			
8. 造作用集成材	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材	[6. 5. 2]																		
	施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材面の等級 間伐材等の適用 ※1等 ・2等																			
	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の等級 間伐材等の適用 ※1等 ・2等																			
	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																			
	施工箇所 化粧薄板の樹種 寸法(mm) 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※A種 ・B種 ・																			
	・																			

	工事名称	スタンド棟 3 階 防 火 設 備 改 修 工 事	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
	図面名称	特記仕様書(建築改修) 4	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	N・S	D-6

6
(続き)

30. フリーアクセスフロア
(20. 2. 2)

施工箇所	寸法 (mm)	高さ (mm)	所定荷重 (N)	表面仕上げ材	備考
	・ 450角以上 ・ 600角以下 ・	・ 100 ・ 120 ・	・ 3000 ・ 5000 ・	・ 帯電防止床材 ・ 帯電防止床材 ・	

適用地震時水平力 1 階及び地階 ※ 0. 06以上
中間階 (～ 階) ※ 0. 06以上
最上階 (階) ※ 1. 06以上

帯電防止床タイル
・ 直敷タイプ ・ パネル一体タイプ
(パネル一体タイプ以外の仕上げ材は別途内装工事とする)

寸法精度
※標準仕様書 20. 2. 2 (b) (5) (i)～(iii)による
厚さ ±0. 5mm
平坦度 パネル周辺部 1. 0mm以下
圆心と各頂点を結ぶ線上部 2. 0mm以下

表面仕上材の品質、性能は、標準仕様書 19 章による。
床パネルの材質 ※7A5合金が 4321 製、2F-1 製又は複合材等
構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 (仕上げ:)
スロープ及びボーダー ※製造所の仕様による ・図示
配線用取り出しパネル
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※50%以上 ・20～30%
配線取り出し開口 ・パネル1枚につき、40mm×80mm 程度の開口1箇所以上
・図示

空調用吹き出し (吸い込み) パネル ・なし ・あり (形式、施工箇所 図示)
(性能、試験方法)
ローリングロード性能 ・適用する 適用室 ()
※適用しない

ローリングロード試験
3. 000N: 積載荷重1000N時において、最大変形量1. 5mm以下
(使用上有害な変形、欠け、割れがたつきなどの欠点がないこと)
5. 000N: 積載荷重1000N以上において、最大変形量1. 5mm以下
(使用上有害な変形、欠け、割れがたつきなどの欠点がないこと)

・ 2 重床用複合アウトレット用開口
適用室 ()
開口の数 フロア面積8㎡につき1ヶ所かつ予備開口を14㎡につき1ヶ所
開口の大きさ
コンセント (電源): 2P15A接地極付×2
情報用モジュージャック (電話): 8極8芯×1
の入ったアウトレットが納まる大きさ
取付方法 フリーアクセスフロア製造所の仕様とする

31. 可動間仕切
(20. 2. 3)

構造形式	構成基材の種類	総厚さ (mm)	表面仕上材	防火性能	備考
	スタッド パネル		材質 厚さ (mm) パネル表面仕上げ		
・ スタッド式 (内蔵) ・ スタッド式 (露出) ・ パネル式 ・ スタッドパネル式		・ 鋼板 ・ 0. 5 以上 ・	・ 95H樹脂焼付又は 77H樹脂焼付 ・ 壁紙張り	・ 不燃	

中心周波数500Hzの音についての透過損失 (dB)
・ 36未満
・ 36以上

パネル内に取付ける鍵具 ・あり (※図示) ・なし
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による
ガラス窓め材 ※ガスケット ・シーリング
パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

32. 移動間仕切
(20. 2. 4)

構造形式	操作方法	圧縮装置の操作方法	総厚さ (mm)	表面仕上材	遮音性 (db/500Hz)
・ 平行方向 移動式 ・ 二方向 移動式	・ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式	・ フッシュ式 ・ ハンドル式	・ 鋼板 ・ 100程度 ・	・ 鋼板 ・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り ・	・ 36未満 ・ 36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標準仕様書19章による
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
・図示

移動間仕切の壁面当たり枠 ※適用する (製造所の仕様による) ・
パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

33. トイレブース
(20. 2. 5)

表面材の種類	色柄	脚部形状	ドアエッジ、形状	材質
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	・無地 ・標準 ※幅木タイプ ・柄物	・標準 ・R	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材	

吊り方式 ※中心吊、戸当たり付 ・ ()

34. 視覚障害者用床タイル
(11. 2. 2) (19. 2. 2)

施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)
屋内	・塩化ビニル製	※300×300・	・7. 0 ・
	・磁器質タイル・せっ器質タイル	※300×300・	・
	・レジンコンクリート製・コンクリート製	※300×300・	・
	・磁器質タイル・せっ器質タイル	※300×300・	・
屋外	・レジンコンクリート製・コンクリート製	※300×300・	・

ブロックパターンは JIS T 9251 による
・樹脂系点字版 (タイスカベット用)
寸法 ・300角 ※500角
色 ※黄色
樹脂系点字版の留付は、両面からの挟込みホック式または接着式
樹脂系点字版突起の形状・寸法及びその配列はJIS 19251に準拠する

6
(続き)

35. 階段滑り止め
(20. 2. 6)

材質	幅 (mm)	取付け工法	端部フラットエンド
・ステンレス製 (SUS304) ・樹脂製ゴムタイヤ入り	・約35 ・	※接着工法 ・埋込み工法	・あり ・ステンレス製 ・

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる
※ステンレス製 口型 (幅40程度 71. 5)
・ステンレス製 6×12 ・黄銅製 6×12

・集成材手すり

形式	径	材種	仕上
・1段	・35φ	※タモ	※CL ・
※2段	※35φ		

・既製手すり (樹脂製)

形式	径	ブラケット	備考
・O型 (1段)	※40φ	アルミ合金製 (心材具)	指づめ防止材具
・O型 (2段)	※34φ		

点字表示板 () 箇所
JIS T 9921に基づき点字の表示原則及び点字表示方法による
※ポリカポネード製 大きさ 120×150程度 厚み 0. 1程度
・塩ビ製 大きさ 100×125程度 厚み 0. 1程度

36. 床目地棒
(20. 2. 7)

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる
※ステンレス製 口型 (幅40程度 71. 5)
・ステンレス製 6×12 ・黄銅製 6×12

37. 手すり
(20. 2. 12)

・再利用する ・新設する

形式	操作方法	種類	スラットの材種	スラット幅 (mm)	ギョウス・レールの材種	寸法・取付箇所
・横型 ・手動 ・電動	・ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25 ・	※鋼製 ・	・図示 ・	
・縦型 ・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式 ・	※アルミスラット ・クロススラット ・	・80 ・100 ・	※7A5合金製 ・	・図示 ・	

アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 図

・再利用する ・新設する

形式	開閉操作	ひだの種類	商品名 (程度)	取付箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレンひだ、片ひだ		・図示 ・	
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレンひだ、片ひだ		・図示 ・	

使用される繊維のうち、ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する製品については 図 とする
暗幕カーテンの間隔、上部及び合わせの重なり ※300mm以上 ・

38. ブラインド
(20. 2. 14)

・再利用する ・新設する

形式	開閉操作	ひだの種類	商品名 (程度)	取付箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレンひだ、片ひだ		・図示 ・	

39. カーテン
(20. 2. 14)

・再利用する ・新設する

材 種 ・アルミニウム製 ・ステンレス製
形式 ・シングル ・ダブル
・片引き ・引分け
強さによる区分 ※10-90
仕上げ ※アルマイト
形状 ※角形

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

40. カーテンレール
(20. 2. 14)

・再利用する ・新設する

材 種 ・アルミニウム製
形式 ・シングル ・ダブル
・片引き ・引分け
強さによる区分 ※10-90
仕上げ ※アルマイト
形状 ※角形

41. ブラインドボックス及びカーテンボックス
(20. 2. 4)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

42. ユーバーボード
(20. 2. 4)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

43. ユーバーボード
(20. 2. 4)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

44. ユーバーボード
(20. 2. 4)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

45. 床点検口
(20. 2. 14)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

46. 仕上塗材仕上げ
(15. 5. 2)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

7
(続き)

36. 床目地棒
(20. 2. 7)

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる
※ステンレス製 口型 (幅40程度 71. 5)
・ステンレス製 6×12 ・黄銅製 6×12

37. 手すり
(20. 2. 12)

・再利用する ・新設する

形式	径	材種	仕上
・1段	・35φ	※タモ	※CL ・
※2段	※35φ		

・既製手すり (樹脂製)

形式	径	ブラケット	備考
・O型 (1段)	※40φ	アルミ合金製 (心材具)	指づめ防止材具
・O型 (2段)	※34φ		

点字表示板 () 箇所
JIS T 9921に基づき点字の表示原則及び点字表示方法による
※ポリカポネード製 大きさ 120×150程度 厚み 0. 1程度
・塩ビ製 大きさ 100×125程度 厚み 0. 1程度

38. ブラインド
(20. 2. 12)

・再利用する ・新設する

形式	操作方法	種類	スラットの材種	スラット幅 (mm)	ギョウス・レールの材種	寸法・取付箇所
・横型 ・手動 ・電動	・ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25 ・	※鋼製 ・	・図示 ・	
・縦型 ・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式 ・	※アルミスラット ・クロススラット ・	・80 ・100 ・	※7A5合金製 ・	・図示 ・	

アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 図

・再利用する ・新設する

形式	開閉操作	ひだの種類	商品名 (程度)	取付箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレンひだ、片ひだ		・図示 ・	
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレンひだ、片ひだ		・図示 ・	

使用される繊維のうち、ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する製品については 図 とする
暗幕カーテンの間隔、上部及び合わせの重なり ※300mm以上 ・

39. カーテン
(20. 2. 14)

・再利用する ・新設する

形式	開閉操作	ひだの種類	商品名 (程度)	取付箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレンひだ、片ひだ		・図示 ・	
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレンひだ、片ひだ		・図示 ・	

使用される繊維のうち、ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する製品については 図 とする
暗幕カーテンの間隔、上部及び合わせの重なり ※300mm以上 ・

40. カーテンレール
(20. 2. 14)

・再利用する ・新設する

材 種 ・アルミニウム製 ・ステンレス製
形式 ・シングル ・ダブル
・片引き ・引分け
強さによる区分 ※10-90
仕上げ ※アルマイト
形状 ※角形

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

41. ブラインドボックス及びカーテンボックス
(20. 2. 4)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

42. ユーバーボード
(20. 2. 4)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

43. ユーバーボード
(20. 2. 4)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

44. ユーバーボード
(20. 2. 4)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

45. 床点検口
(20. 2. 14)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

46. 仕上塗材仕上げ
(15. 5. 2)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

8
(続き)

37. 手すり
(20. 2. 12)

・再利用する ・新設する

形式	径	材種	仕上
・1段	・35φ	※タモ	※CL ・
※2段	※35φ		

・既製手すり (樹脂製)

形式	径	ブラケット	備考
・O型 (1段)	※40φ	アルミ合金製 (心材具)	指づめ防止材具
・O型 (2段)	※34φ		

点字表示板 () 箇所
JIS T 9921に基づき点字の表示原則及び点字表示方法による
※ポリカポネード製 大きさ 120×150程度 厚み 0. 1程度
・塩ビ製 大きさ 100×125程度 厚み 0. 1程度

38. ブラインド
(20. 2. 12)

・再利用する ・新設する

形式	操作方法	種類	スラットの材種	スラット幅 (mm)	ギョウス・レールの材種	寸法・取付箇所
・横型 ・手動 ・電動	・ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25 ・	※鋼製 ・	・図示 ・	
・縦型 ・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式 ・	※アルミスラット ・クロススラット ・	・80 ・100 ・	※7A5合金製 ・	・図示 ・	

アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 図

・再利用する ・新設する

形式	開閉操作	ひだの種類	商品名 (程度)	取付箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレンひだ、片ひだ		・図示 ・	
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレンひだ、片ひだ		・図示 ・	

使用される繊維のうち、ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する製品については 図 とする
暗幕カーテンの間隔、上部及び合わせの重なり ※300mm以上 ・

39. カーテン
(20. 2. 14)

・再利用する ・新設する

形式	開閉操作	ひだの種類	商品名 (程度)	取付箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレンひだ、片ひだ		・図示 ・	
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレンひだ、片ひだ		・図示 ・	

使用される繊維のうち、ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する製品については 図 とする
暗幕カーテンの間隔、上部及び合わせの重なり ※300mm以上 ・

40. カーテンレール
(20. 2. 14)

・再利用する ・新設する

材 種 ・アルミニウム製 ・ステンレス製
形式 ・シングル ・ダブル
・片引き ・引分け
強さによる区分 ※10-90
仕上げ ※アルマイト
形状 ※角形

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

41. ブラインドボックス及びカーテンボックス
(20. 2. 4)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

42. ユーバーボード
(20. 2. 4)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

43. ユーバーボード
(20. 2. 4)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

44. ユーバーボード
(20. 2. 4)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

45. 床点検口
(20. 2. 14)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

46. 仕上塗材仕上げ
(15. 5. 2)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

9
(続き)

38. ブラインド
(20. 2. 12)

・再利用する ・新設する

形式	操作方法	種類	スラットの材種	スラット幅 (mm)	ギョウス・レールの材種	寸法・取付箇所
・横型 ・手動 ・電動	・ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25 ・	※鋼製 ・	・図示 ・	
・縦型 ・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式 ・	※アルミスラット ・クロススラット ・	・80 ・100 ・	※7A5合金製 ・	・図示 ・	

アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 図

・再利用する ・新設する

形式	開閉操作	ひだの種類	商品名 (程度)	取付箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレンひだ、片ひだ		・図示 ・	
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレンひだ、片ひだ		・図示 ・	

使用される繊維のうち、ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する製品については 図 とする
暗幕カーテンの間隔、上部及び合わせの重なり ※300mm以上 ・

39. カーテン
(20. 2. 14)

・再利用する ・新設する

形式	開閉操作	ひだの種類	商品名 (程度)	取付箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレンひだ、片ひだ		・図示 ・	
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレンひだ、片ひだ		・図示 ・	

使用される繊維のうち、ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する製品については 図 とする
暗幕カーテンの間隔、上部及び合わせの重なり ※300mm以上 ・

40. カーテンレール
(20. 2. 14)

・再利用する ・新設する

材 種 ・アルミニウム製 ・ステンレス製
形式 ・シングル ・ダブル
・片引き ・引分け
強さによる区分 ※10-90
仕上げ ※アルマイト
形状 ※角形

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

41. ブラインドボックス及びカーテンボックス
(20. 2. 4)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

42. ユーバーボード
(20. 2. 4)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

43. ユーバーボード
(20. 2. 4)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

44. ユーバーボード
(20. 2. 4)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

45. 床点検口
(20. 2. 14)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

46. 仕上塗材仕上げ
(15. 5. 2)

・再利用する ・新設する

溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 0-1
・0-2
・

皮膜等の種類 標準仕様書表14. 2. 1による
・鋼製 (仕上げ:)

10
(続き)

39. カーテン
(20. 2. 14)

・再利用する ・新設する

形式	開閉操作	ひだの種類	商品名 (程度)	取付箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレンひだ、片ひだ		・図示 ・	
・シングル ・ダブル	・片引き				

9
(続き)

4. 7ｽﾍﾞｽﾄ含有
保温材等の処理

アスベスト含有保温材等の施工調査 ※行う
処理を行うアスベスト含有保温材等の仕様等 [9. 1. 1]

材料名	厚さ (mm)	処理を行う範囲	
・アスベスト含有保温材	※図示	・	
・アスベスト含有耐火被覆板材	※図示	・	
・アスベスト含有断熱材	※図示	・	

5. 断熱材 ㊦

フェノールフォームのホルムアルデヒドの放散量 [9. 3. 2] [5. 2]
※規制対象外品 第三種品
・打込み断熱材

材種	発泡剤の種類	種類	厚さ
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾞﾘｽﾄﾚﾝﾌｫｰﾑ保温	A種		
・押出法ﾎﾞﾘｽﾄﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材	A種	・保温板2種b (一般部)	※25 ・ () ・ ()
・硬質ﾎﾟﾘｳﾚﾀｰﾑ	A種		
・ﾌｧﾉｰﾙﾌｫｰﾑ	A種		

既存外壁の処置 [9. 3. 3]
既存外壁の仕上材の撤去 ・行う
下地面の清掃 ・行う
下地面欠損部の改修工法 ()
通気層 ・有 (厚さ)
現場発泡断熱材 (A種 1) [9. 5. 3]

難燃性	厚さ (mm)	施工箇所
・25 ・ ()	※窓廻り等の断熱材補修部分、R-ﾌﾛｯﾄの廻りの床版下等、部分的に 後張りとしなければならない箇所	・

6. 屋上緑化
改修工事 ㊦

植栽基盤及び材料 [9. 6. 1. 2. 3]
屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 ・
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 ・
建設省告示第1458号による風圧力に対応した固定方法
(品質・性能・試験方法)
建築材料等品質性能表による
かん水装置 ・設置する (種類 ・ ・)
既存保護層の撤去 ・行う ・行わない
支柱 ・設置する (種類 ・図示 ・)
植栽した芝及び地被類の枯れ保証期間 ・

7. 透水性 ｱｽﾌｧﾙﾄ
舗装改修工事

適用範囲：歩道 [9. 7. 2. 3、5～9]
既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 ・
路床

種別	材料	厚さ (mm)
・盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ㊦	・図示 ・
・遮断層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下) ・	・図示 ・
・凍土抑制層	・再生ｸﾞﾗﾝｳﾞｪﾝ ㊦ ・ｸﾞﾗﾝｳﾞｪﾝ ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下) ・	・図示 ・
・フィルター層	・砂 ・	・図示 ・

路床安定処理
・添加材料による安定処理
種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種
・高伊セメント
・
添加量 kg/m³ (目標CBR ・5以上 ・)
・ジオテキスタイル
単位面積質量 ・60g/m²以上
厚さ (mm) ・0.5～1.0
引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上
透水係数 ・1.5×10⁻⁶ cm/sec以上

試験
砂の粒度試験 ・行う ・行わない
路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・行う ・行わない
路床締固め度の試験 ・行う ・行わない

路盤
路盤の構成及び厚さ ・図示 ・
路盤材料 ※再生材のクラッシュラン ㊦
・クラッシュラン鉄鋼スラグ ㊦
・
・図示

舗装

材料	厚さ (mm)
ストレートアスファルト	・図示 ・30

試験
透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ※行う ・行わない
舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの ・

(22. 7. 2～6)

区分	種類	材料	厚さ (mm)
表層	・排水性舗装用ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物	・ｶﾞﾘﾏ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型	・40
・	・	・	・図示
基層	・加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物等 (密粒ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物)	・再生ｱｽﾌｧﾙﾄ ㊦	・図示
・	・	・ｽﾄﾚｰﾄｱｽﾌｧﾙﾄ	・

舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの ・
試験
アスファルト混合物等の抽出試験 ※行う ・行わない

9
(続き)

9. 路盤

路盤の構成及び厚さ ・図示 ・
路盤材料 ・砕石 C-40
※再生クラッシュラン ㊦ RC-40
・クラッシュラン鉄鋼スラグ ㊦ CS-40
・
・図示

試験
路盤締固め度の試験 ※行う ・行わない

10. アスファルト
舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 ・
材料
アスファルト ※再生アスファルト ㊦ ・ストレートアスファルト
骨材 ・道路用砕石
※アスファルトコンクリート再生骨材 ㊦
加熱アスファルト混合物等の種類

区分	地域	種類
表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13)
基層	一般地域	粗粒度アスファルト混合物 (20)

シールコートの施工 ・行う ・行わない
試験
アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

11. PCB含有
シーリング材

・サンプリングの採取 (1次分析用)
現場においてサンプルを採取する
採取箇所 ※外壁目地 ・図示 ・ ()
採取箇所数 ※部材が異なる毎に1箇所 ・ ()箇所
・サンプリングの採取 (2次分析用)
・現場においてサンプルを採取する
採取箇所 ※外壁目地 ・図示 ・ ()
採取箇所数 ※部材が異なる毎に1箇所 ・ ()箇所
・発注者より貸与する
分析個数 ・ ()箇所
1) 採取作業はシーリング等が散逸することのないよう注意して行う
2) シーリング材は目地に打設されている形状のまま5cm程度をカッターナイフで切断し、ただちにポリエチレン製の密閉袋に保管し、No. 及び採取場所を記入する。サンプルは1袋に1つずつ入れること。
3) カッターナイフの刃は、1つのサンプルを採取する毎に新しい部分に換えること。
4) シーリング材を切断した部分は必要に応じて補修すること。補修材料は特記仕様書による。
5) 皮膚との接触等を避けるため保護手袋及び保護マスクを着用する。
6) 休憩時及び作業終了後には必ず手洗いをを行う。
7) 作業後は周囲を清掃し、散逸物を回収する。回収物はサンプリング残渣とその他のごみに分別し、サンプリング残渣と同様にポリエチレン製の密閉袋に入れる。
・サンプリングの分析
・1次分析 (シーリング種類の調査)
「シーリング材種判定及びPCB含有分析の要否判定依頼書」を作成し、採取したサンプルと併せて日本シーリング材工業会に送付し、分析を行うこと。
・2次分析 (PCB含有率調査)
専門分析機関にサンプルを送付しPCB含有分析を行うこと。
・施工調査等
調査範囲 ※図示 ・ ()
処分にあたり、あらかじめ次の事項について調査を行うこと
シーリング使用部位の確認
シーリング長さの確認
施工範囲と工事管理区分の確認
仮設計画
廃棄物の搬出方法
・除去処理工事
PCBを含有したシーリング材の処理は次によるほか、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (昭和45年法律137号)」並びに「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法 (平成13年法律第65号)」により適切に行うこと。
1) 工事に先立ち施工計画書を作成し、監督職員の承諾を得ること。
2) シーリング材の散逸防止として、床面、開口部、換気口等に養生を行い、作業区域からの飛散防止措置をとる。
3) 作業員は保護マスク及び保護手袋を着用すること。
4) シーリング材はカッターナイフ等を用い、下地が露出するまで極力切除する。
5) 除去工事終了後、シーリング材及び散逸物を回収しポリエチレン製の密閉袋に入れ保管容器に入れること。保管容器の形状、材質等は保管量、保管場所を考慮し、監督職員の承諾を得たものとする。
6) 除去及び回収状況について監督職員の検査を受けること。
7) 工事完工後、設計図書によりがたい場合、又は不測の事象が発生した場合は監督職員と協議する。

別表-1 設備工事との工事区分表 ※図示による

○印は本工事範囲とする

工 事 内 容		本 工 事	電気設備工事	機械設備工事
機 器 の 基 礎	電 気 関 係	配電盤・制御盤の基礎	屋内	
		テレビアンテナ基礎	屋外	
		避雷針の基礎	屋上	
		特記した基礎		
機 械 関 係	屋内設備			
	屋上設備 (梁台、アンカーボルトを除く)			
	屋外設備 (" ")			
	梁台・アンカーボルト			
開 口 部	梁、床、壁	補強を要するもの		
	貫通スリーブ	補強を要しないもの		
	梁、床、壁	補強を要するもの		
	貫通部型枠	補強を要しないもの		
	軽量鉄骨地下	補強を要するもの		
	壁・天井・ド 類	補強を要しないもの (アウトレットBOXは除く)		
	埋込形分電盤、端子盤等の型枠	補強を要するもの		
	上記開口部の墨出し	補強を要しないもの		
	上記開口部の補強			
	スリーブの穴埋め (型枠の穴埋めを含む)			
	OA フロア配線器具用			
	点 検 口	床、壁、天井	○	
外 部 取 付 ガラリ	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む			
防 油 堤	オイルサービスタンクの防油堤、タンク基礎			
床下水槽のマンホールふた				
ガス漏れ検知器				
消火栓組込み機器収納箱内配線整理用端子板				
湯沸室の排気フード				
換 気 扇	本体			
	取付枠			
流 し 台	本体 (排水トラップ共)			
浴 槽	水栓			
身障者用便所手廻り				
電 気 配 線	機器付属の制御盤以降の配管配線 (接地共)			
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線			
	自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線			
	自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線			
	機器と付属操作スイッチ等との渡り配線			
	機器と付属操作スイッチ等との渡り配管			
	機器と付属操作スイッチ			
	機器と付属操作スイッチの埋込ボックス			
	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパー及び排煙口に至る配管配線			
	小便器用節水装置制御盤以降の配管配線			
自動ドア及び電動シャッタなどの制御部への電源供給			○	
自動ドア及び電動シャッタなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ				
防火扉レリーズ			○	
電梯梯				
配線ビッド及びふた				
別途機器などへの接続				
シ ス テ ム 天 井	ボード・Tバー			
	照明ライン設備プレート			
	空調ライン設備プレート			
電 気 錠	電気錠及び通電金具			
	テンキー及び制御盤			
浄 化 槽	杭工事			
	土工事			
	基礎工事			
	電気工事			
水道リモートメーターの配線				
水道リモートメーターの配線の結線と調査				

工事名称

スタンド棟 3 階 防 火 設 備 改 修 工 事

図面名称

特記仕様書 (建築改修) 6

(有)白濱建築設計事務所

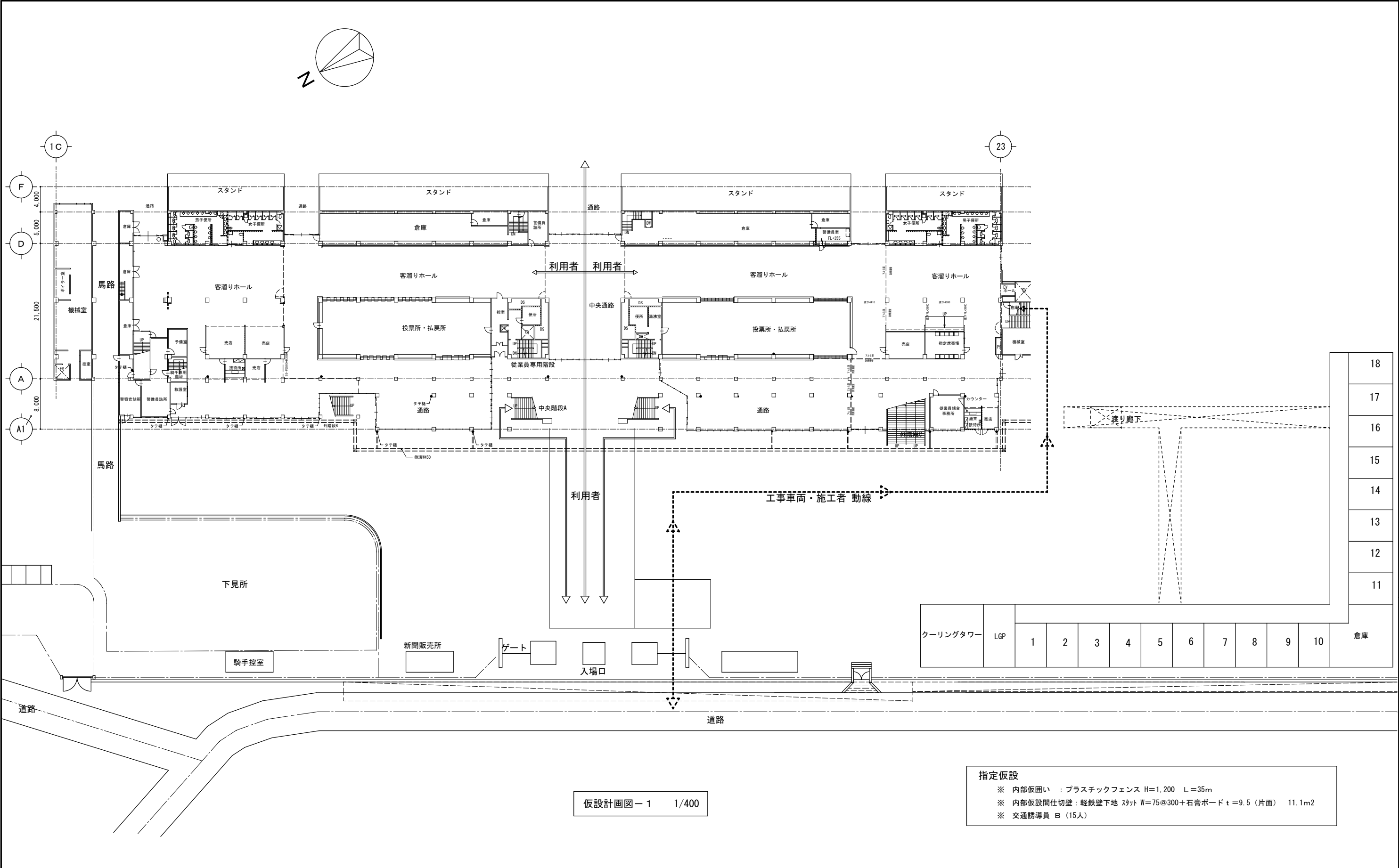
1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳

縮 尺

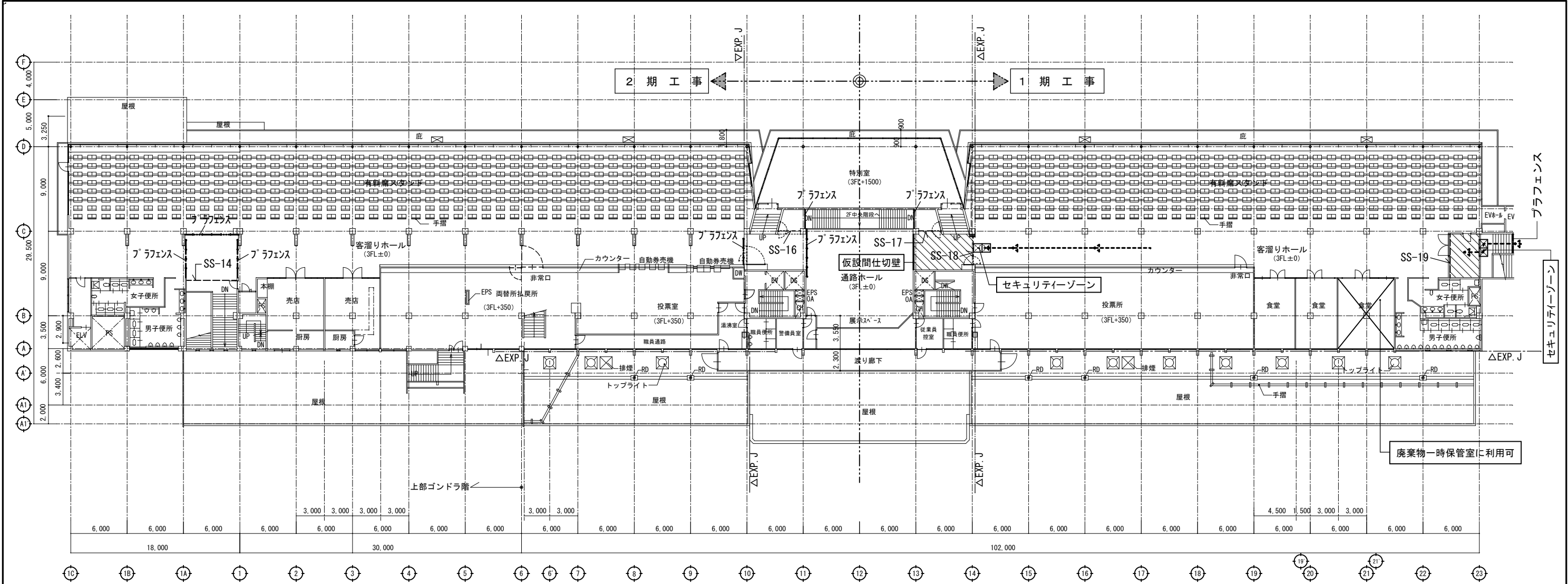
N・S

図面番号

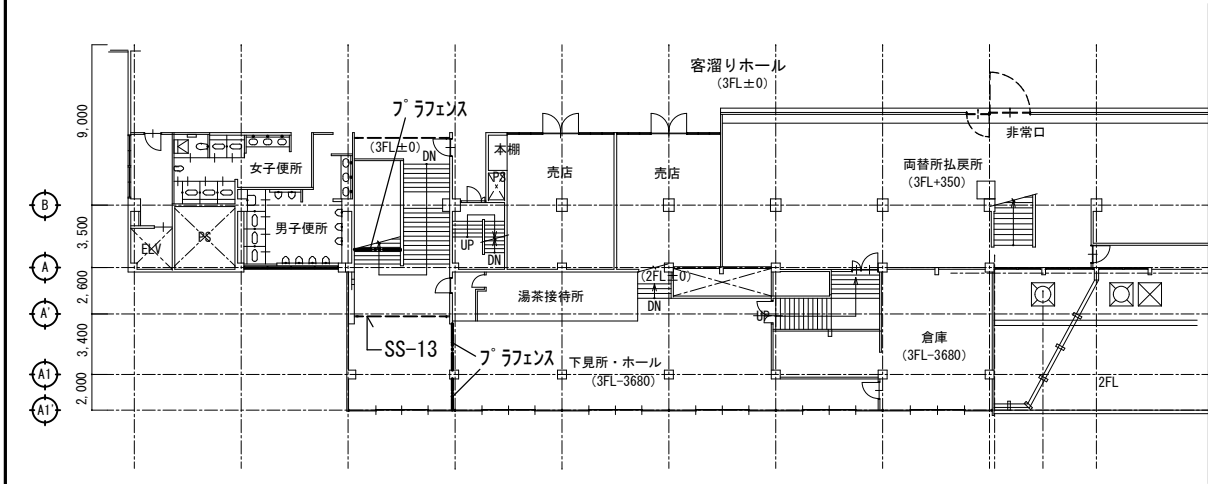
D-8



			工事名称	スタンド棟 3 階 防 火 設 備 改 修 工 事	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			図面名称	仮設計画図-1	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/400 A3 : 71%縮小	D - 9



3階平面図 1/300



中3階平面図 1/300

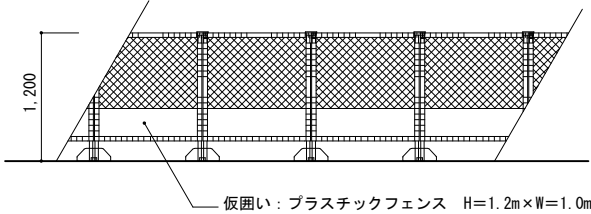
3階平面図
↑
中3階平面図
↓

⑬通 仮設間仕切壁：軽鉄壁下地スット W=75 @300+石膏ボード t=9.5張り（片面）

◆ セキュリティーゾーン（更衣室+前室）設置は 7スベ ス封じ込め工事に含む
900*1,800以上 H=2,000（6面ビニールシート張り、中仕切り共） 2ヶ所

◆ アスベスト封じ込め工事部分（天井裏）を示す。
◆ 野地板面より床まで、壁4面+床面ビニールシート張りー7スベ ス封じ込め工事に含む

※ 1期工事中封鎖する期間はアスベスト封じ込め工事の実施中のみとする。
※ 2期工事の実施中は封鎖せず、通常営業が出来ることとする。



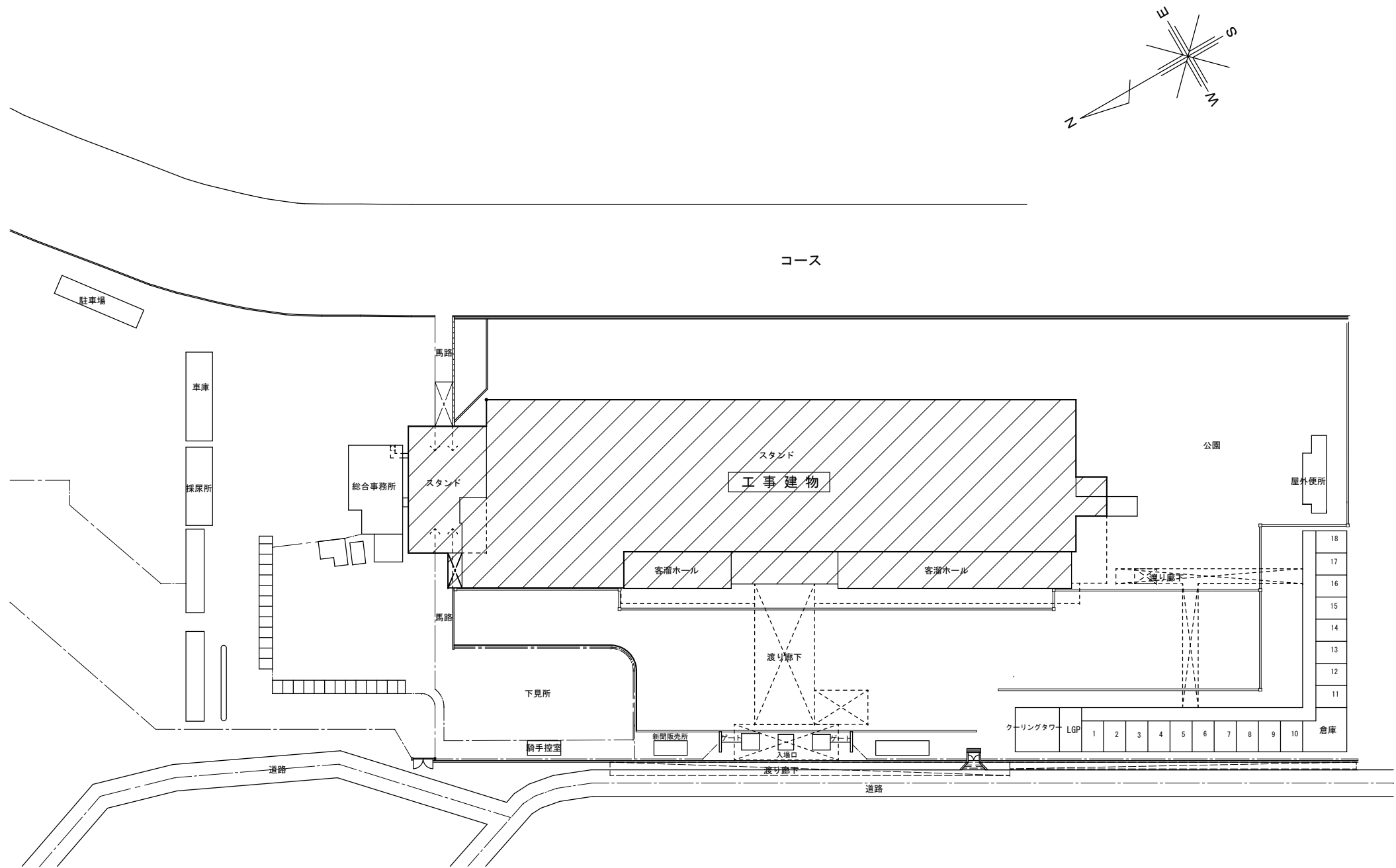
内部仮囲い：プラフェンス詳細図 1/50

			工事名称	スタンド棟 3 階 防 火 設 備 改 修 工 事	(有)白濱建築設計事務所 1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	縮 尺	図面番号
			図面名称	仮設計画図ー 2		A2：1/300・1/50 A3：71%縮小	Dー10



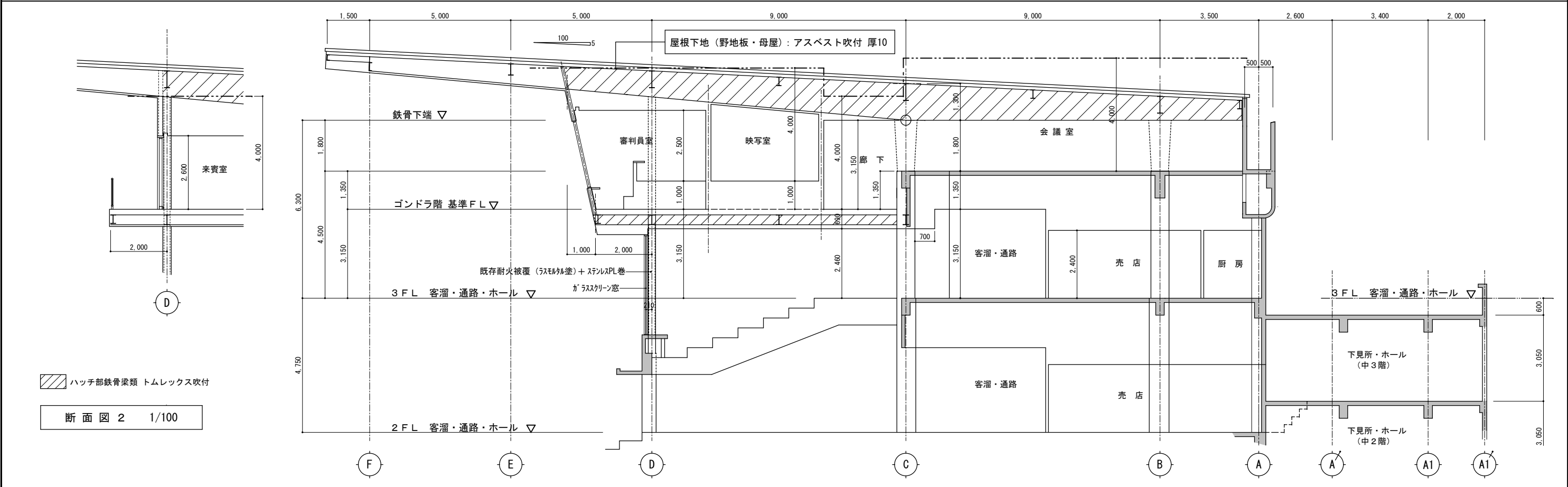
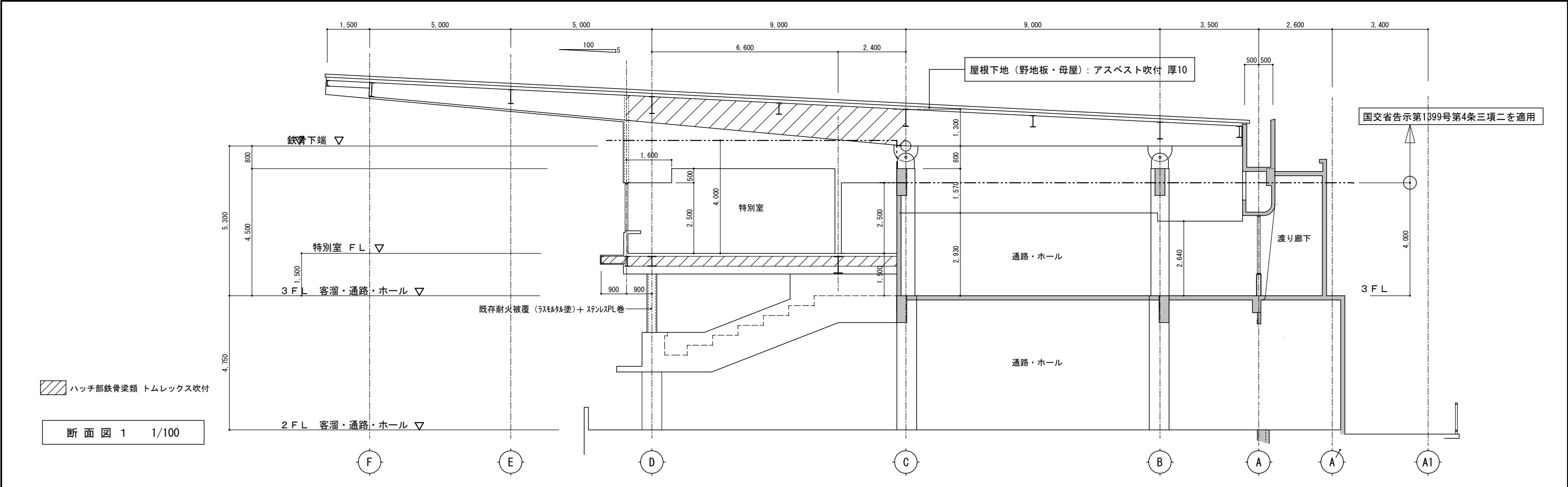
工事場所

付近見取図

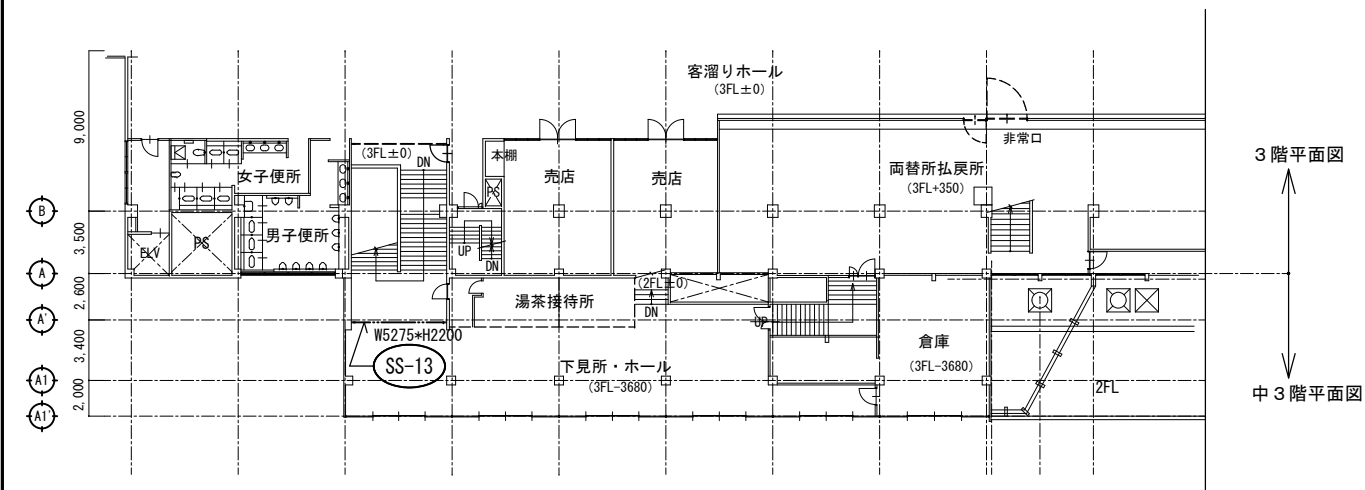
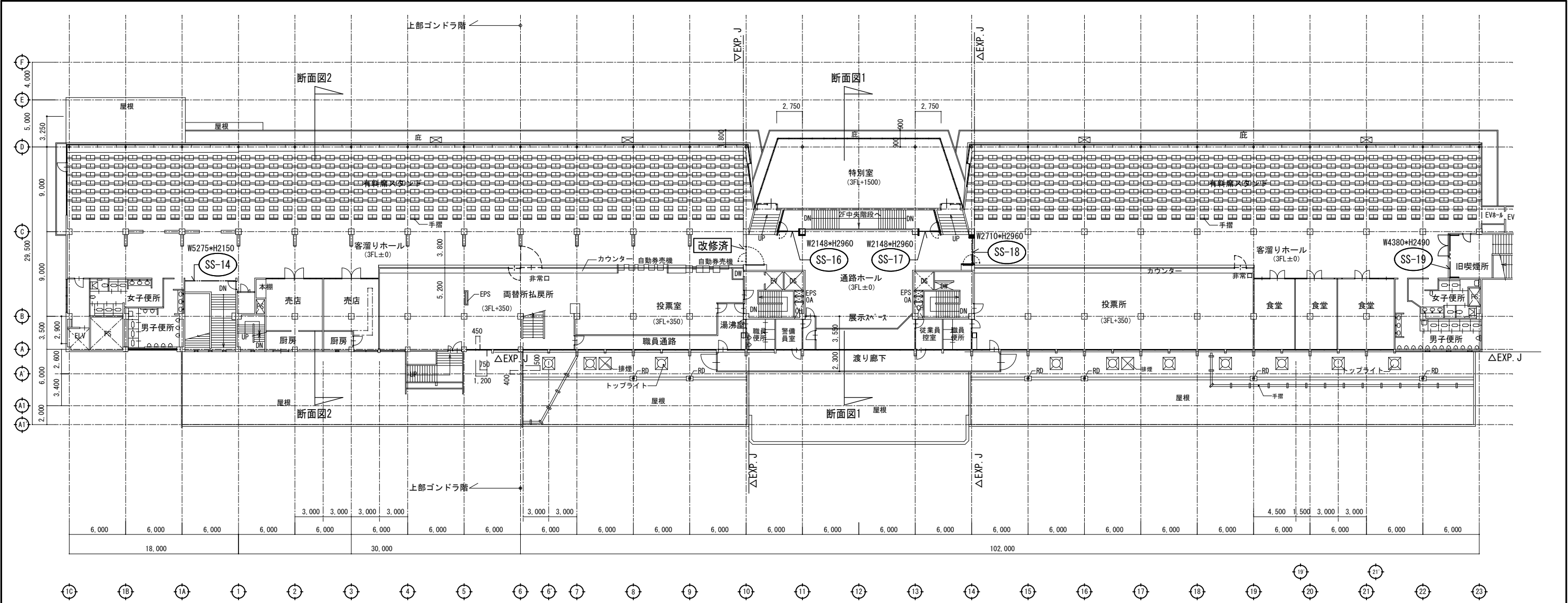


配置図 1 : 800 ※破線部は屋根を示す

			工事名称	スタンド棟 3 階 防 火 設 備 改 修 工 事	(有)白濱建築設計事務所 1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	縮 尺	図面番号
			図面名称	付近見取図・配置図		A2 : 1/800 A3 : 71%縮小	D-11



			工事名称 スタンド棟 3 階 防 火 設 備 改 修 工 事	(有)白濱建築設計事務所 1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	縮 尺	図面番号
					A2 : 1/100	D - 12
			図面名称 断 面 図 1 ・ 2		A3 : 71%縮小	

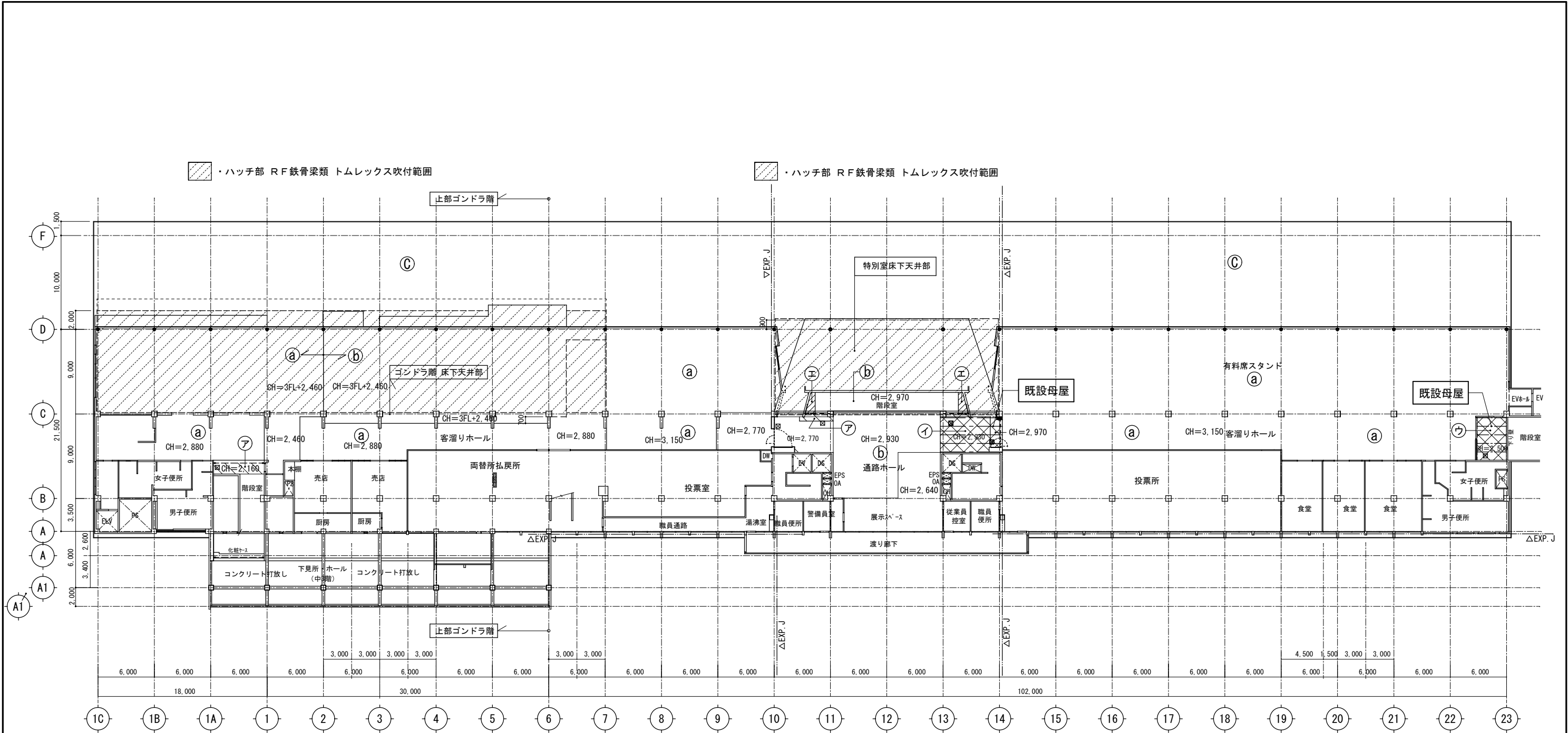


3階改修平面図 1/300

- ◆ SS-13、14：既設防火シャッター改修
- ◆ SS-16、17、18、19：既設防火シャッター撤去+新設防火シャッター

中3階改修平面図 1/300

			工事名称	スタンド棟 3 階 防 火 設 備 改 修 工 事	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			図面名称	スタンド棟 3 階 ・ 中3階 改 修 平 面 図	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/300 A3 : 71%縮小	D-13



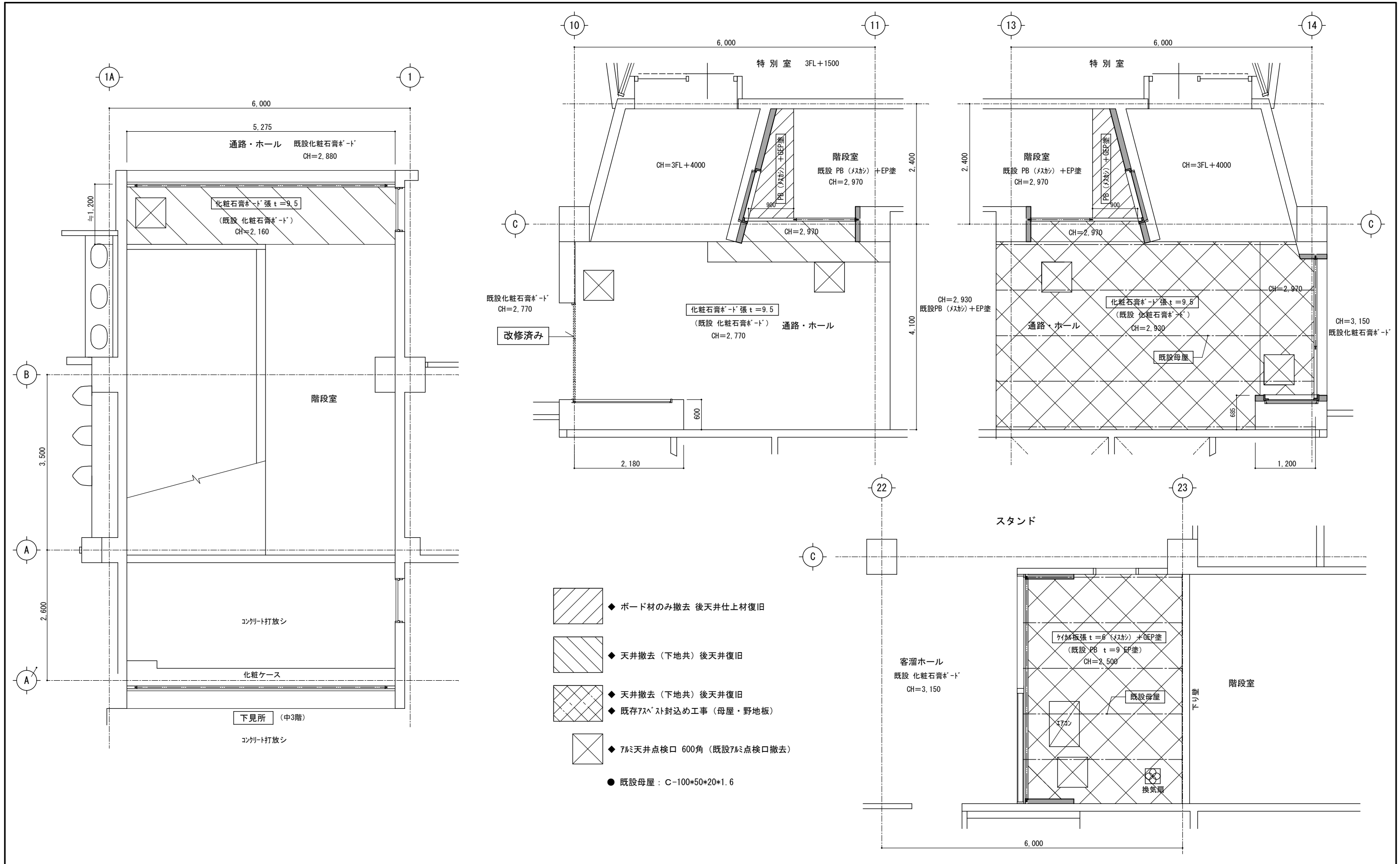
3階天井伏図 1/300

既設天井仕上	
Ⓐ	化粧石膏ボード t=9.5 (LGS天井下地)
Ⓑ	プラスターボード t=9 (メスカシ) + E P (LGS天井下地)
Ⓒ	スパンドレル張り (LGS天井下地)

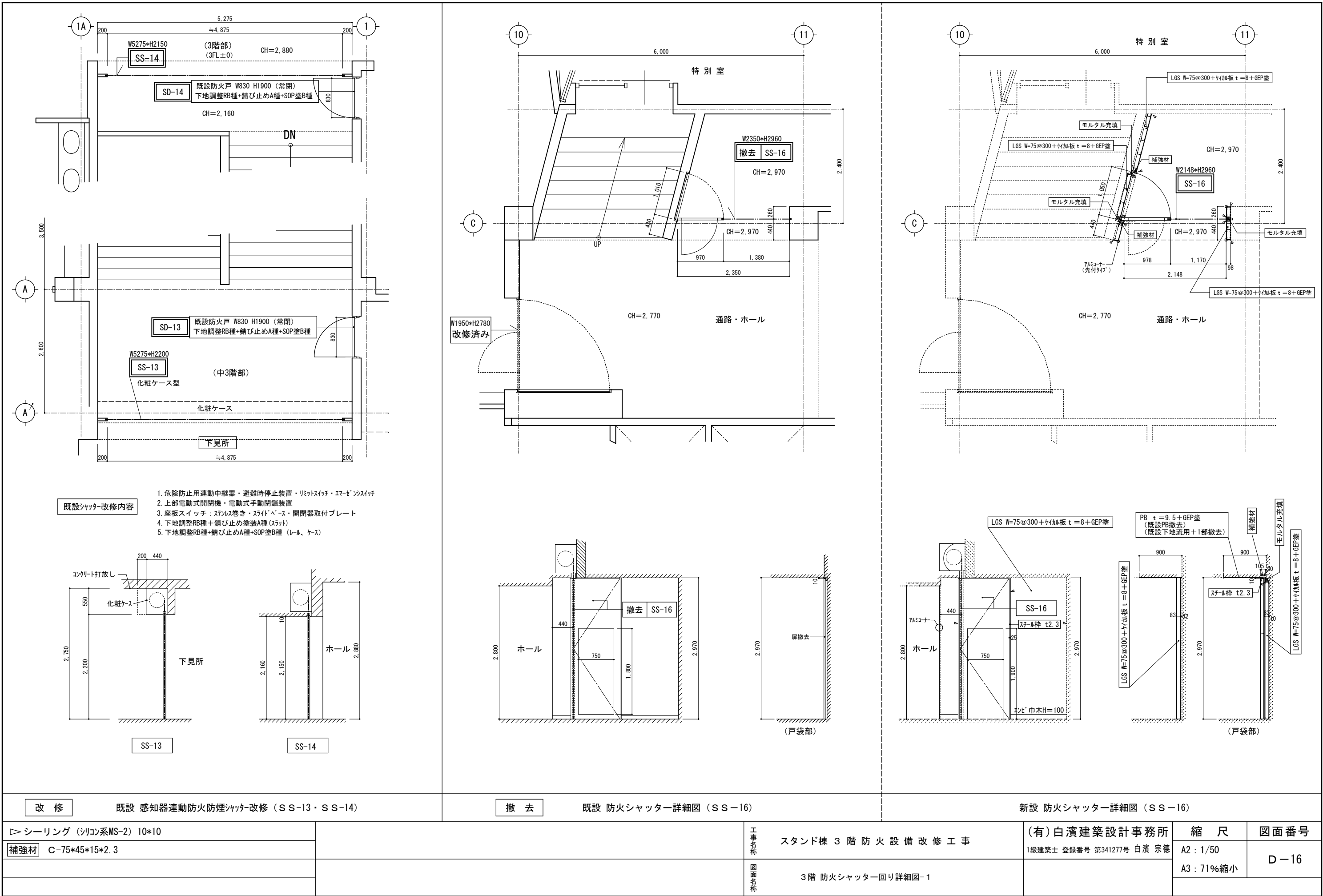
- ・ハッチ部：天井及び天井下地撤去及び復旧 (7スベ'スト処理完了部)
- ・ハッチ部：天井及び天井下地撤去及び復旧・7スベ'スト封じ込め工事 (母屋、野地板)
- ・天井点検口 (アルミ製 600角) 既設点検口撤去
- 既設母屋：C-100*50*20*1.6

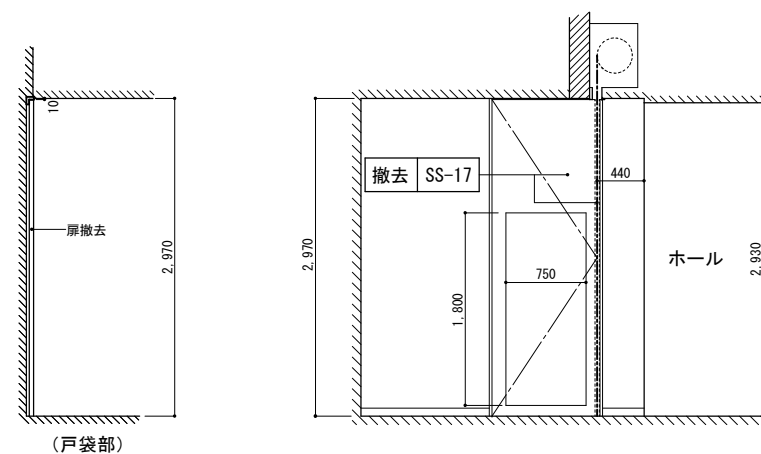
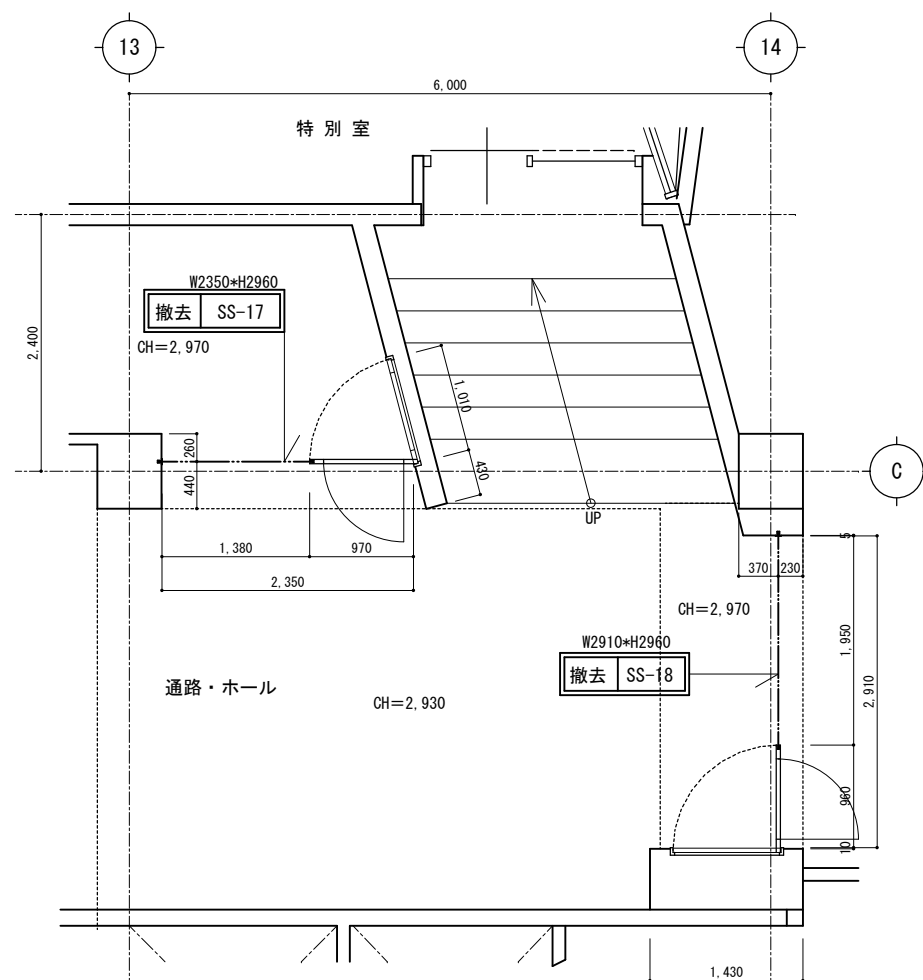
Ⓐ	既存	化粧石膏ボード t=9.5 (LGS天井下地)	Ⓔ	既存	プラスターボード t=9 (メスカシ) + E P
	撤去	同上撤去		撤去	ボードのみ撤去
	改修	化粧石膏ボード t=9.5 (LGS天井下地)		改修	プラスターボード t=9 (メスカシ) + E P
Ⓘ	既存	化粧石膏ボード t=9.5 (LGS天井下地)	⓪	既存	
	撤去	同上 撤去		撤去	
	改修	化粧石膏ボード t=9.5 (LGS天井下地) (7スベ'スト封じ込め工事)		改修	
Ⓚ	既存	プラスターボード t=9 (メスカシ) + E P (LGS天井下地)	Ⓚ	既存	
	撤去	同上撤去		撤去	
	改修	石膏板 (メスカシ t=6 + G E P (LGS天井下地) (7スベ'スト封じ込め工事)		改修	

		◆ 天井点検口の位置は関係者にて協議し決定の事	工事名称 スタンド棟 3 階 防 火 設 備 改 修 工 事	(有)白濱建築設計事務所 1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	縮 尺	図面番号
		◆ LGS天井下地：軽量鉄骨天井下地（19型）			A2：1/300	D－14
			図面名称 3階 天 井 伏 図 － 1		A3：71%縮小	

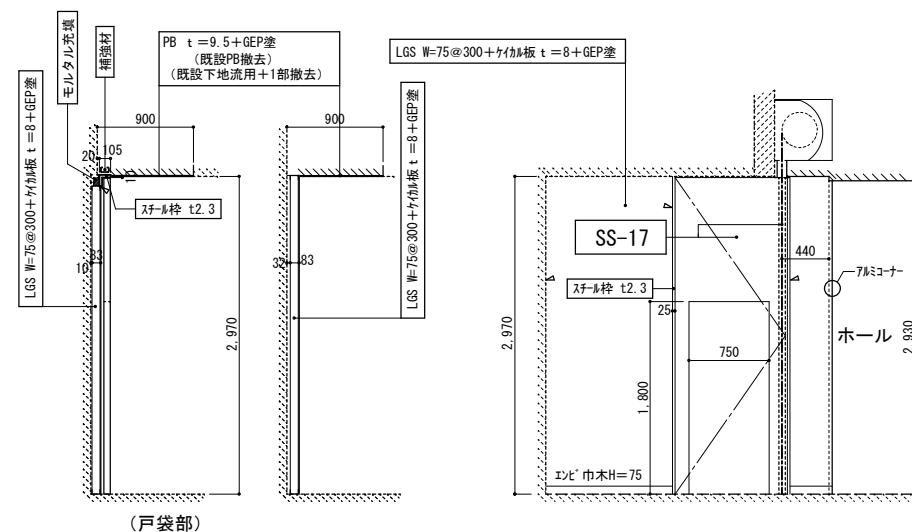
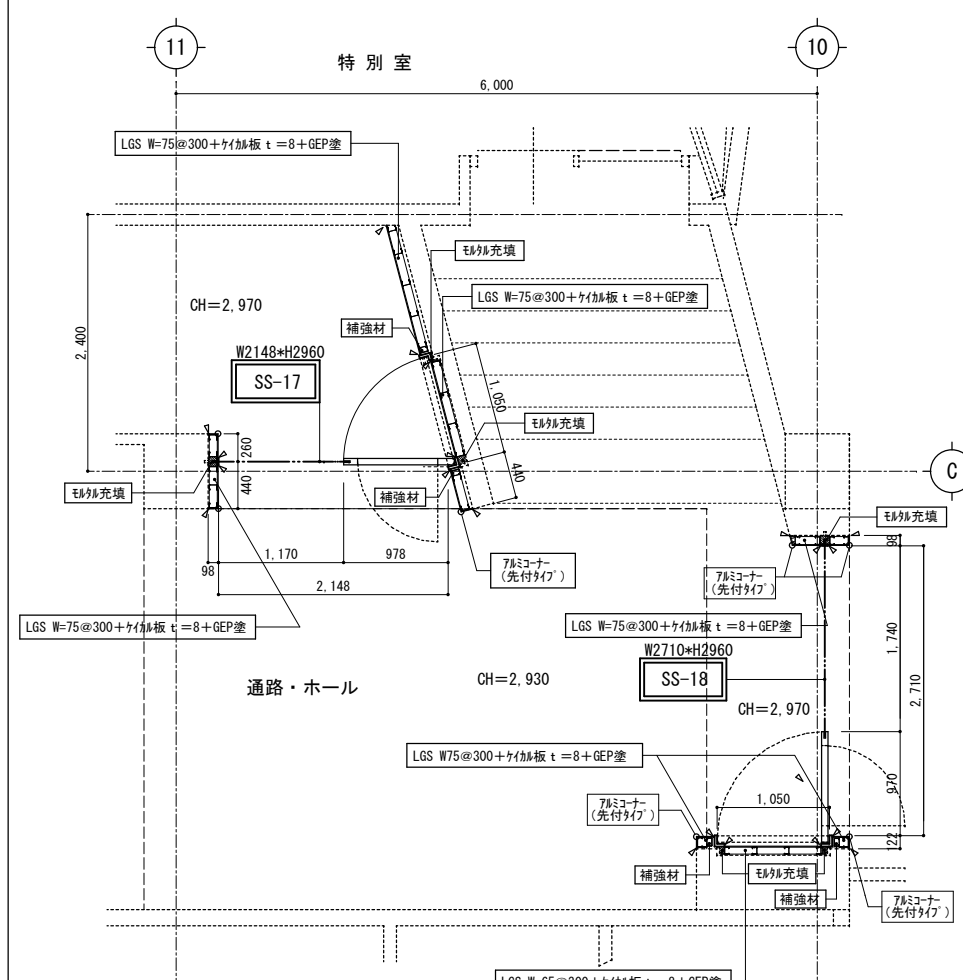


		◆ 天井点検口の位置は関係者にて協議し決定の事	工事名称	スタンド棟 3 階 防 火 設 備 改 修 工 事	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			図面名称	3階 天 井 伏 図-2	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2：1/50	D-15
						A3：71%縮小	

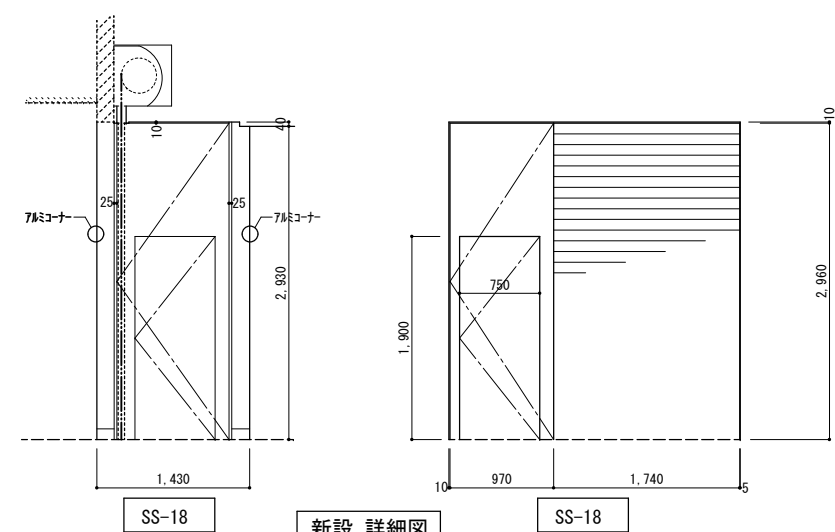
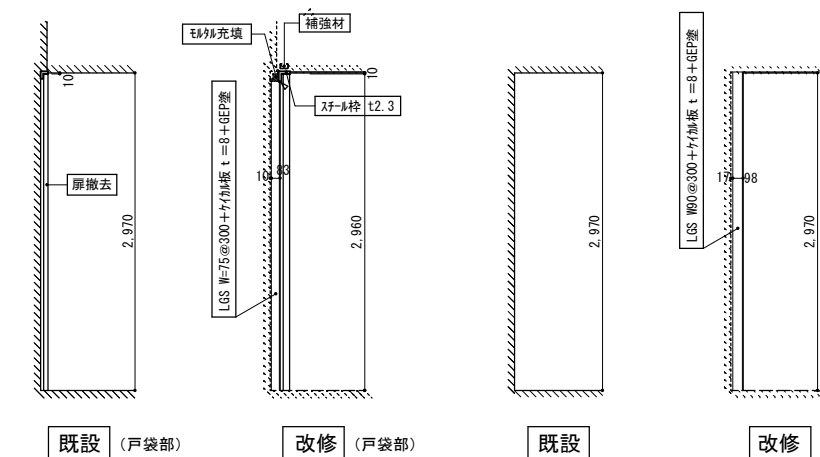




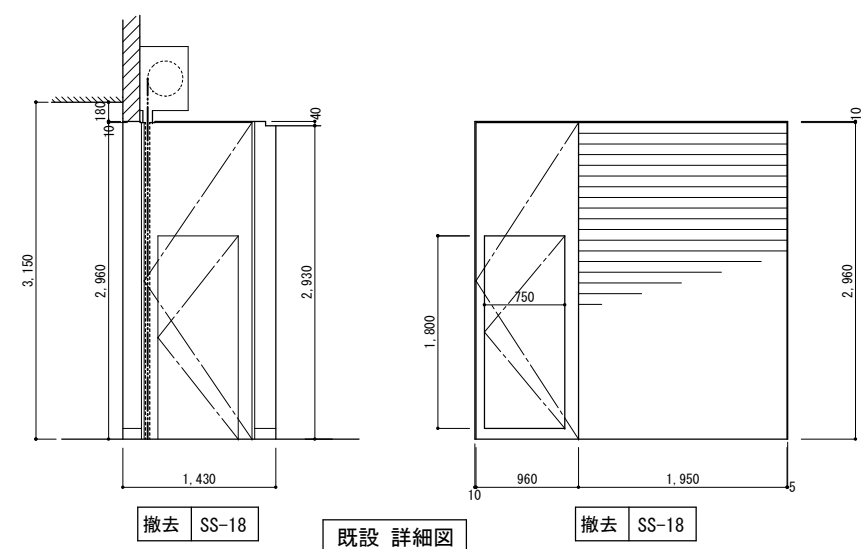
撤 去 既設 防火シャッター詳細図 (SS-17・18)



新設 防火シャッター詳細図 (SS-17・18)



新設 詳細図

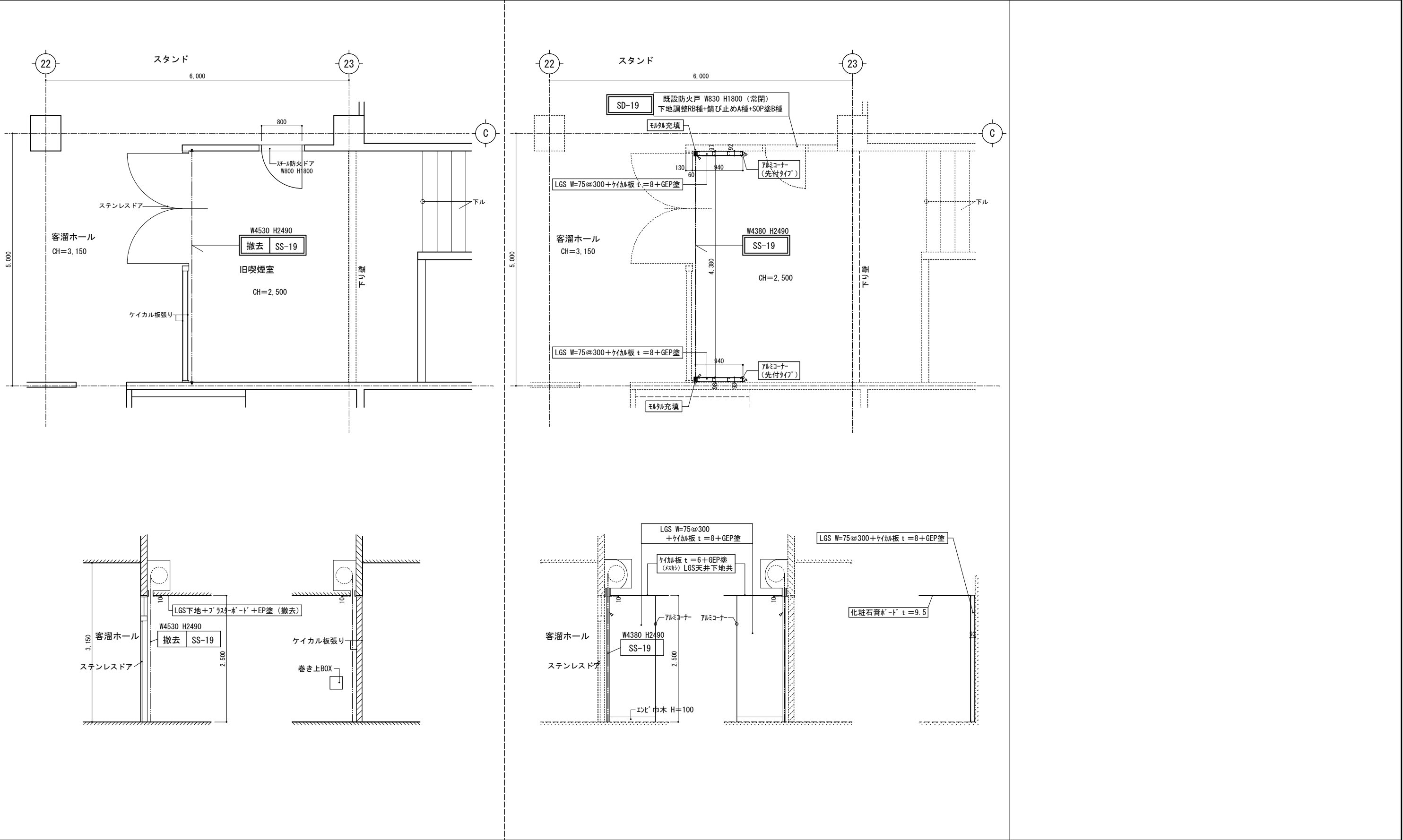


既設 詳細図

新設 防火シャッター詳細図 (SS-18)

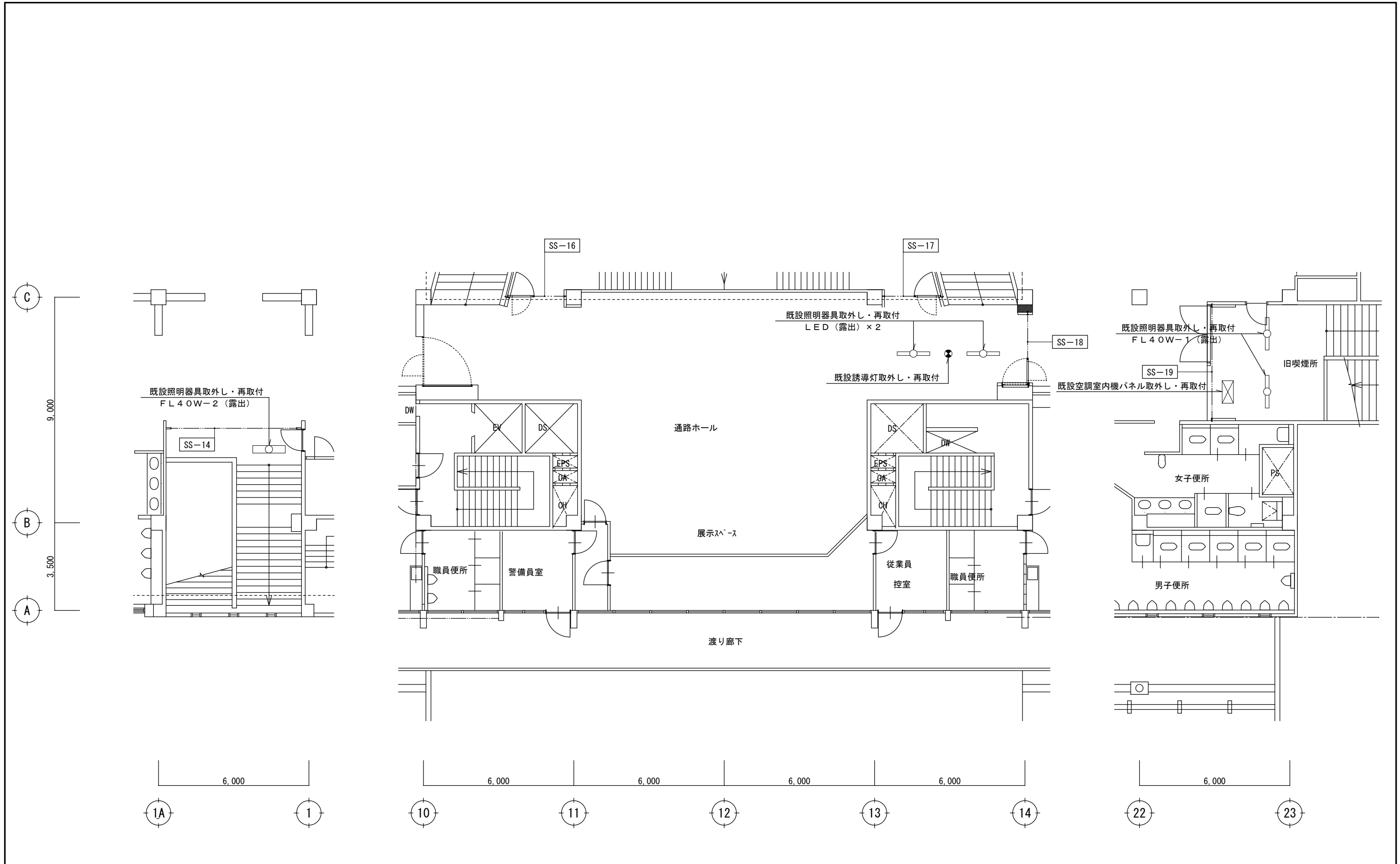
▷ シーリング (シリコン系MS-2) 10*10	工事名称 スタンド棟 3 階 防 火 設 備 改 修 工 事	(有)白濱建築設計事務所 1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	縮 尺	図面番号
補強材 C-75*45*15*2.3			A2 : 1/50	D - 17
			A3 : 71%縮小	
	図面名称 3 階 防火シャッター回り詳細図-2			

▷ シーリング (シリコン系MS-2) 10*10	工事名称 スタンド棟 3 階 防 火 設 備 改 修 工 事	(有)白濱建築設計事務所 1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	縮 尺	図面番号
補強材 C-75*45*15*2.3			A2 : 1/50	D - 17
			A3 : 71%縮小	
	図面名称 3 階 防火シャッター回り詳細図-2			

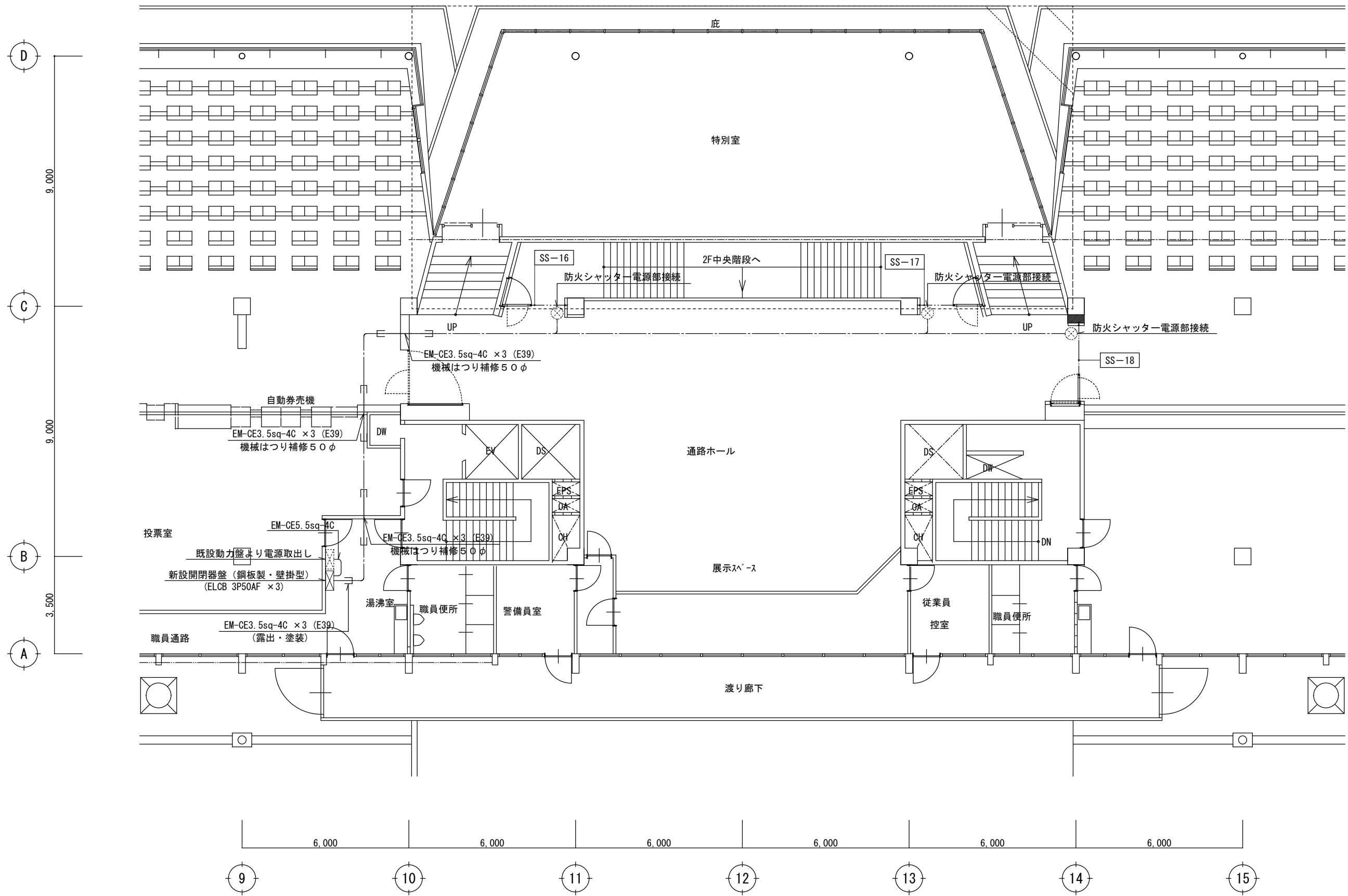


撤 去		既設 防火シャッター詳細図（SS－19）		新設 防火シャッター詳細図（SS－19）								
▷ シーリング（シリコン系MS-2）10*10				工事 名称	スタンド棟 3 階 防 火 設 備 改 修 工 事		(有)白濱建築設計事務所		縮 尺		図面番号	
補強材 C-75*45*15*2.3					1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳		A2：1/50		D－18			
							A3：71%縮小					
							図面 名称		3階 防火シャッター回り詳細図-3			

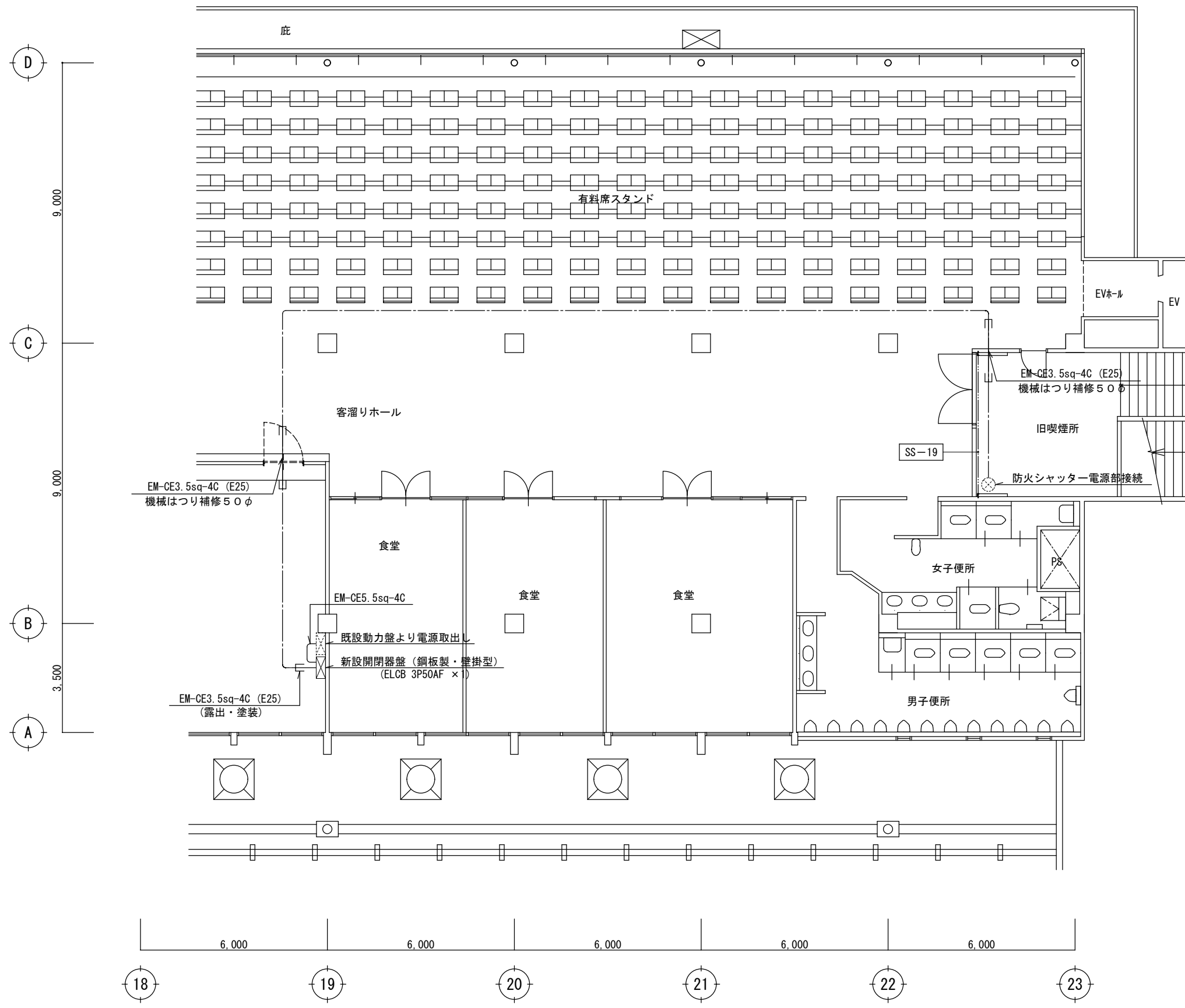
<div>中3階 建具配置図 1/500</div> <div><div>SS-13</div><div>SD-13</div><div>SS-14</div><div>SD-14</div><div>SS-16</div><div>SS-17</div><div>SS-18</div><div>SS-19</div><div>SD-19</div></div> <div>・SS-13：既設シャッター改修 ・SD-13：既設防火扉改修 (塗装塗替工事)</div>																										
<div>3階 建具配置図 1/500</div> <div>・SS-16・17・18・19：既設シャッター撤去後 シャッター新設 ・SS-14：既設シャッター改修 ・SD-14・19：既設防火扉改修 (塗装塗替工事)</div>																										
符号・名称		SS-13 既設 感知器連動防火防煙シャッター改修			1		SS-14 既設 感知器連動防火防煙シャッター改修			1		SS-16 新設 感知器連動防火防煙シャッター (既設シャッター撤去)			1		SS-17 新設 感知器連動防火防煙シャッター (既設シャッター撤去)			1						
姿 図 1/100		<div>※特定防火設備</div> <div><div>矢視 (シャッター)</div><div>4.875</div><div>200</div><div>200</div><div>4.875</div><div>200</div><div>下見所</div><div>化粧ケース SOP塗替</div><div>SOP塗替</div></div>					<div>※特定防火設備</div> <div><div>200</div><div>4.875</div><div>200</div><div>矢視 (シャッター)</div><div>4.875</div><div>200</div><div>200</div><div>4.875</div><div>200</div><div>ケース天井内収納</div><div>SOP塗替</div><div>2.150</div><div>2.160</div><div>2.150</div><div>ホール</div><div>2.880</div></div>					<div>※特定防火設備</div> <div><div>階段室</div><div>矢視 (シャッター)</div><div>1.050</div><div>978</div><div>1.170</div><div>2.148</div><div>2.970</div><div>2.770</div><div>2.970</div><div>1.170</div><div>978</div></div>					<div>※特定防火設備</div> <div><div>階段室</div><div>矢視 (シャッター)</div><div>1.050</div><div>1.170</div><div>978</div><div>2.148</div><div>2.970</div><div>2.930</div><div>2.970</div><div>978</div><div>1.170</div></div>									
仕 様		1. 危険防止用連動中継器・避難時停止装置・リミットスイッチ・イマゼンスイッチ 2. 上部電動式開閉機・電動式手動閉鎖装置 3. 座板スイッチ：ステンレス巻き・スライドベース・開閉器取付プレート 4. 下地調整RB種+錆び止め塗装A種 (スラット) 5. 下地調整RB種+錆び止めA種+SOP塗B種 (レール、ケース)					1. 危険防止用連動中継器・避難時停止装置・リミットスイッチ・イマゼンスイッチ 2. 上部電動式開閉機・電動式手動閉鎖装置 3. 座板スイッチ：ステンレス巻き・スライドベース・開閉器取付プレート 4. 下地調整RB種+錆び止め塗装A種 (スラット・ケース) 5. 下地調整RB種+錆び止めA種+SOP塗B種 (レール)					材質 スチール (アエンメッキ) 1. 危険防止用連動中継器・急降下停止装置・避難時停止装置 2. 電動開閉装置 (三相200V)・電動式手動閉鎖装置・リミットスイッチ・自動閉鎖装置 3. ステンレス製：ガイドレール・ステンレス巻き：マグサ、座板 4. シャッター連動袖防火扉 (スチール) t1.6 (枠・潜り戸付・オートヒンジ 共)・ケースハンドル錠 5. 素地拵えB種+錆び止塗装A種 (スラット・ケース・袖防火扉)					材質 スチール (アエンメッキ) 1. 危険防止用連動中継器・急降下停止装置・避難時停止装置 2. 電動開閉装置 (三相200V)・電動式手動閉鎖装置・リミットスイッチ・自動閉鎖装置 3. ステンレス製：ガイドレール・ステンレス巻き：マグサ、座板 4. シャッター連動袖防火扉 (スチール) t1.6 (枠・潜り戸付・オートヒンジ 共)・ケースハンドル錠 5. 素地拵えB種+錆び止塗装A種 (スラット・ケース・袖防火扉)									
符号・名称		SS-18 新設 感知器連動防火防煙シャッター (既設シャッター撤去)			1		SS-19 新設 感知器連動防火防煙シャッター (既設シャッター撤去)			1		SD-13 既設 防火戸 (常閉)			1		SD-14 既設 防火戸 (常閉)			1		SD-19 既設 防火戸 (常閉)			1	
姿 図 1/100		<div>※特定防火設備</div> <div><div>矢視 (シャッター)</div><div>1.740</div><div>978</div><div>1.050</div><div>2.930</div><div>3.150</div><div>1.740</div><div>970</div><div>750</div><div>1.900</div><div>2.970</div></div>					<div>※特定防火設備</div> <div><div>客溜ホール</div><div>矢視 (シャッター)</div><div>4.380</div><div>5</div><div>5</div><div>ステンレスドア</div><div>3.150</div><div>2.500</div><div>4.380</div><div>5</div><div>10</div><div>2.500</div></div>					<div>830</div> <div>1.900</div>					<div>830</div> <div>1.900</div>					<div>800</div> <div>1.800</div>				
仕 様		材質 スチール (アエンメッキ) 1. 危険防止用連動中継器・急降下停止装置・避難時停止装置 2. 電動開閉装置 (三相200V)・電動式手動閉鎖装置・リミットスイッチ・自動閉鎖装置 3. ステンレス製：ガイドレール・ステンレス巻き：マグサ、座板 4. シャッター連動袖防火扉 (スチール) t1.6 (枠・潜り戸付・オートヒンジ 共)・ケースハンドル錠 5. 素地拵えB種+錆び止塗装A種 (スラット・ケース・袖防火扉)					材質 スチール (アエンメッキ) 1. 危険防止用連動中継器・急降下停止装置・避難時停止装置 2. 電動開閉装置 (三相200V)・電動式手動閉鎖装置・リミットスイッチ・自動閉鎖装置 3. ステンレス製：ガイドレール・ステンレス巻き：マグサ、座板 4. 素地拵えB種+錆び止塗装A種 (スラット・ケース)					形式 既設 片開きスチール防火戸 材質 スチールフラッシュ 硝子 仕上 下地調整RB種+錆び止めA種+SOP塗B種 見込 額縁 100～130 金物 備考					形式 既設 片開きスチール防火戸 材質 スチールフラッシュ 硝子 仕上 下地調整RB種+錆び止めA種+SOP塗B種 見込 額縁 100～130 金物 備考					形式 既設 片開きスチール防火戸 材質 スチールフラッシュ 硝子 仕上 下地調整RB種+錆び止めA種+SOP塗B種 見込 額縁 100～130 金物 備考				
◆ 新設シャッター工事はアエンメッキ鋼+素地拵え+錆び止塗装 (スラット・ケース・袖防火扉共) とする。							◆ 新設シャッター袖防火扉のSOP塗はシャッター工事には含まない。							● 既設シャッター・既設防火扉の塗装はシャッター工事には含まない。												
工事名称							スタンド棟 3 階 防 火 設 備 改 修 工 事							(有)白濱建築設計事務所												
図面名称							建 具 配 置 図・建 具 表							1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳												
														縮 尺												
														図面番号												
														A2：1/100・500												
														A3：71%縮小												
														D-19												



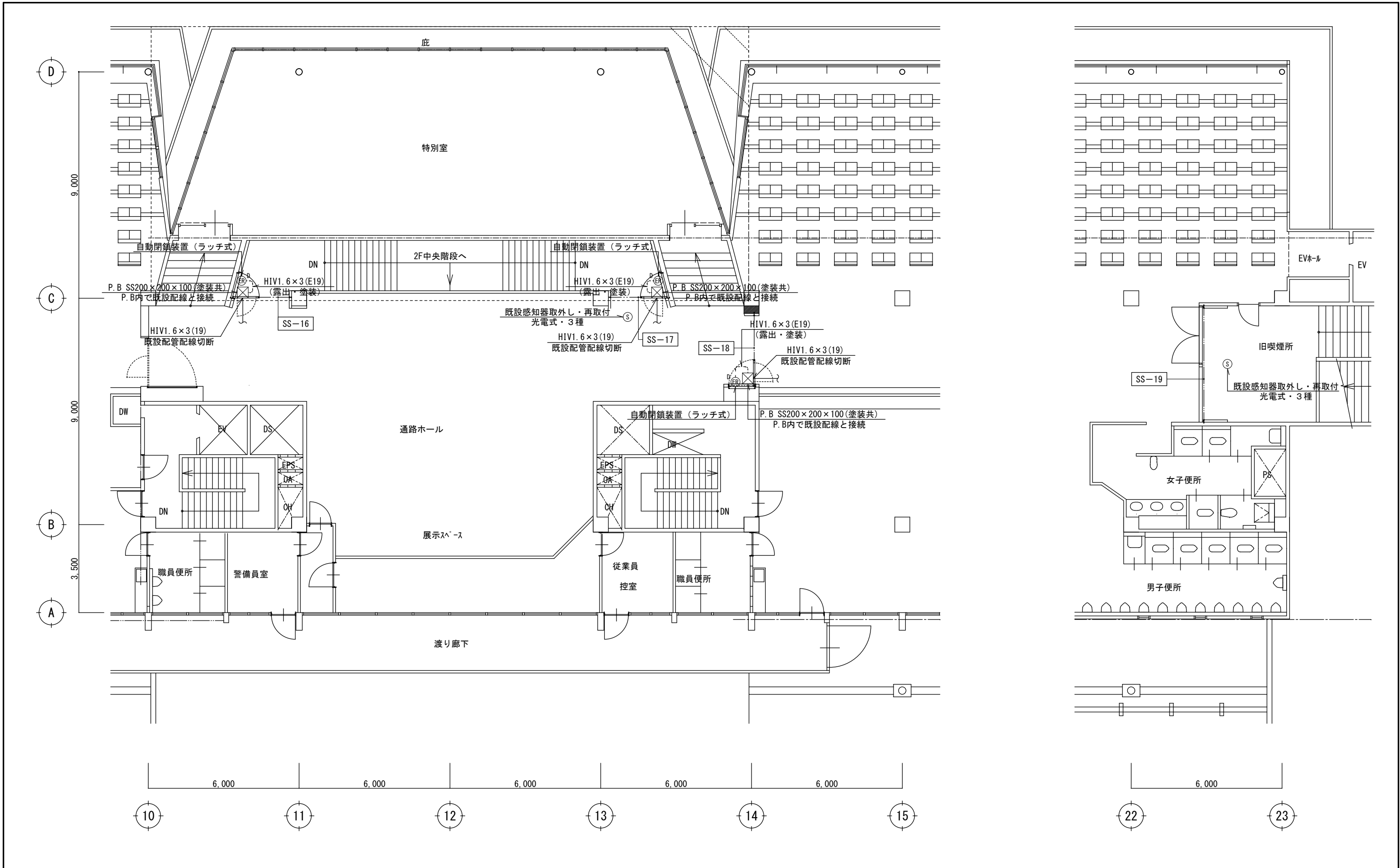
			工事名称	スタンド棟 3 階 防 火 設 備 改 修 工 事	（有）白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			図面名称	スタンド棟 3 階平面図（電灯設備）	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/100 A3 : 71%縮小	E - 2



		工事名称	スタンド棟 3 階 防 火 設 備 改 修 工 事	(有)白濱建築設計事務所 1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	縮 尺	図面番号
					A2 : 1/100	E - 3
		図面名称	スタンド棟 3階平面図（動力設備）－ 1		A3 : 71%縮小	



			工事名称	スタンド棟 3 階 防 火 設 備 改 修 工 事	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
					1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/100	E - 4
			図面名称	スタンド棟 3階平面図（動力設備） - 2		A3 : 71%縮小	



			工事名称	スタンド棟 3 階 防 火 設 備 改 修 工 事	(有)白濱建築設計事務所 1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	縮 尺	図面番号
			図面名称	スタンド棟 3階平面図 (火災報知設備)		A2 : 1/100	E - 5
						A3 : 71%縮小	